

令和6年度 第1回 小金井市地下水保全会議

日 時：令和6年8月30日（金）午前9時30分から

場 所：前原暫定集会施設A会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局自己紹介
- 5 会長・副会長互選
- 6 地下水保全会議の概要（資料1）
- 7 議題
 - (1) 東京都実施の地下水概況調査結果等について（資料2）
 - (2) P F A Sに関する動向について
 - (3) 小金井市の雨水浸透施設設置の取り組みについて（資料3）
 - (4) 環境講座「小金井の地下水を学ぶ」について（資料4）
 - (5) その他
- 8 報告事項
 - (1) 令和5年度水質監視及び湧水調査について（資料5）
 - (2) 令和5年度地下水位測定について（資料6）
 - (3) その他
- 9 次回審議会の日程について

<配布資料>

- 資料 1 地下水保全会議の概要
- 資料 2 東京都実施の地下水概況調査結果等について
- 資料 3 小金井市の雨水浸透施設設置の取り組みについて
- 資料 4 環境講座「小金井の地下水を学ぶ」
- 資料 5 令和 5 年度水質監視測定及び湧水調査報告書
- 資料 6 令和 5 年度水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定報告書

<参考資料>

- (1) 地下水保全会議委員名簿【参考資料 1】

小金井市地下水保全会議の概要

令和6年8月30日

環境部環境政策課

1 小金井市の地下水について

小金井市の地名は、黄金に値する豊富な水が出ることを示す「黄金の井戸」に由来したと言われており、現在も市民が小金井らしさの筆頭として「水」をあげるほど、地下水・湧水に縁の深いまちです。特に、国分寺崖線沿いの湧水や湧水を集めて流れる野川は、小金井市民の貴重な財産です。

しかし、高度成長期以降、急速な都市化が進み、市内に無数にあった湧水源は大幅に減少し、湧水量も激減しました。この結果、渇水期には野川が頻繁に瀬枯れを起こすようにもなりました。このような事態を受け、小金井市と小金井市民（事業者も含む）は、雨水貯留施設及び雨水浸透枡の設置を推進し、雨水浸透施設については他に類を見ない設置率を誇っているところです。

また、小金井市では、「小金市の地下水及び湧水を保全する条例」（以下「条例」という。）を制定し、「地下水及び湧水の保全・利用に係る計画」を策定すると共に、学識経験者等で構成される地下水保全会議を組織し、専門的な見地から地下水及び湧水の保全に努めているところです。

2 地下水保全会議の役割

小金井市地下水保全会議は、条例第8条に基づき市長が設置する、行政内の会議体であり、学識経験者等5人で組織しています。

小金井市では同条第3条において、市の責務として、「市民及び事業者に地下水及び湧水の保全に関する情報を適切に提供し、意識の啓発を図るとともに、市が実施する地下水及び湧水の保全に関する施策に協力を求めること」を定めており、同4条では、事業者の責務として、「事業活動を行うに当たっては、地下水及び湧水の保全のために必要な措置を講ずるとともに、市が実施する地下水及び湧水の保全に関する施策に協力」することを求めています。

そこで市は、適切な情報を提供し、事業者に協力を求めるためには、地下水の専門家に意見を伺う必要があると考え、学識経験者等による地下水保全会議を組織して、適切な情報をいただいているところです。

(参考)

○小金井市の地下水及び湧水を保全する条例 一部抜粋

(市の責務)

第3条 市は、次に掲げるところにより、貴重な飲料水源及び自然環境資源である地下水及び湧(ゆう)水の保全に係る必要な措置を講じなければならない。

- (1) 地下水及び湧(ゆう)水を将来にわたって保全するために、総合的かつ計画的な施策を実施すること。
- (2) 市民及び事業者に地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する情報を適切に提供し、意識の啓発を図るとともに、市が実施する地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する施策に協力を求めること。

(事業者の責務)

第4条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、地下水及び湧(ゆう)水の保全のために必要な措置を講ずるとともに、市が実施する地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する施策に協力し、第21条に基づく指導に従う責務を有する。

(地下水保全会議)

第8条 市長は、地下水に関する情報分析等のために、学識経験者等で組織する小金井市地下水保全会議(以下「会議」という。)を設置するものとする。

- 2 会議は、市長が委嘱する委員5人以内をもって組織する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 会議に、会長及び副会長各1人を置き、委員のうちから互選により定める。
- 5 会長は、会議を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

3 過去の地下水保全会議での主な議題について

(1) 令和5年度

- ア 有機フッ素化合物（PFAS）について
- イ 「（仮称）小金井の地下水を学ぶ」について
- ウ 庁舎建設事業の再開について
- エ 地下水マネジメント研究会について（参考）

(2) 令和4年度

- ア 小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設実施計画について
- イ 有機フッ素化合物（PFAS）について

(3) 令和3年度

- ア 小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設実施設計について
- イ 地下水影響工事に係る基準について

(4) 令和2年度

- ア 地下水及び湧水の保全・利用に係る計画の改訂について
- イ 新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設について

(5) 令和元年度

- ア 地下水及び湧水の保全・利用に係る計画
- イ 新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設基本設計について

【その他】

水質監視測定及び湧水調査報告書について（毎年報告）

東京都実施の地下水概況調査結果等について

1 地下水概況調査について

東京都内全域の全体的な地下水質の状況を把握するとともに、未把握の地下水汚染を発見することを目的として、環境基準項目28項目・要監視項目6項目・要調査項目1項目の調査を東京都が実施している。（根拠法令：水質汚濁防止法）

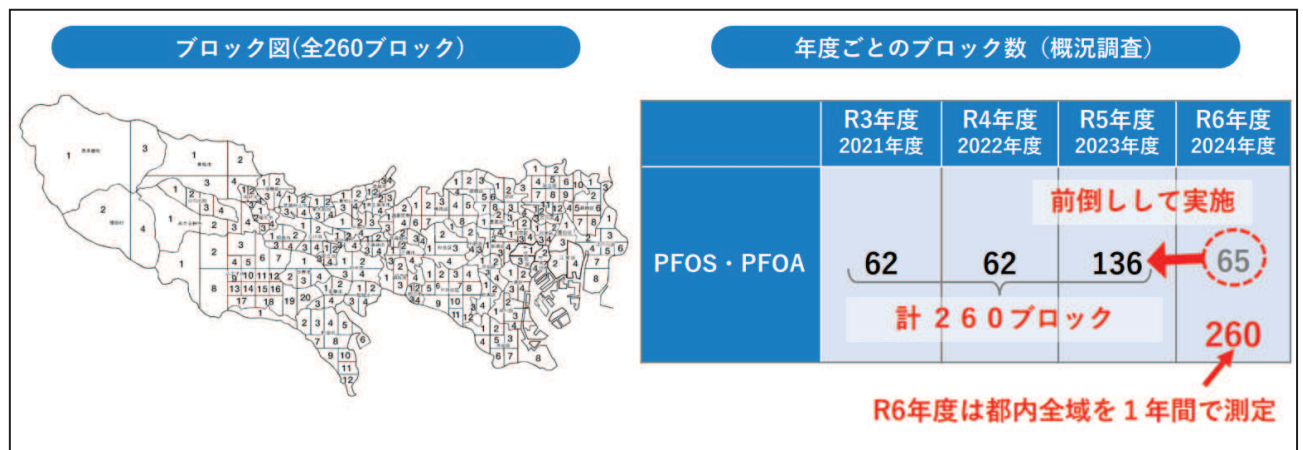
令和3年度から要監視項目2項目（PFAS及びPFOA）、要調査項目1項目（PFHxS）が追加された。

2 地下水調査実施方法について

東京都では、水質汚濁防止法による「水質測定計画」に基づき、都内全域の調査を実施している。

PFOS・PFOAについては、令和3年度から都内を260ブロックに分けて4年で一巡する計画としていたが、令和5年度は令和6年度分を前倒しして調査し、3年で全体を把握している。

令和6年度については、都内全域となる260ブロックを1年間で調査実施予定。



（出典：東京都 有機フッ素化合物に関する東京都の取組）

3 調査結果（令和3年度から令和5年度）について

- (1) 各市区町村の結果（別紙1）
- (2) 暫定指針値（50 ng/l）を超過した箇所（別紙2）

4 東京都のPFOS等に関する支援事業（情報提供）

(1) PFOS等含有泡消火薬剤の転換促進事業

都内における新たなPFOS排出リスクの低減を目的として、都内のPFOS含有消火薬剤の交換を進めるため、全国初の事業を開始した。

本事業では、都内に駐車場を有する事業者等を対象に、PFOS含有泡消火薬剤を交換する際の新しい消火薬剤の購入費及び撤去した消火薬剤の処理費などを補助する。

(2) 区市町村と連携したPFOS等地下水調査促進事業

ア 都が実施するPFOS等地下水調査を補完する調査を実施する自治体に対して、当該調査に係る経費の一部を負担

-
- ・都が進める地下水調査に資する独自調査であることが支援の条件
 - ・暫定指針値を超過した地点の周辺等での更なる調査を進めるため、超過が見られない地点では要望に沿えない場合がある。
 - ・都の調査に資すると認められる地点が複数あれば、原則上限額を設けずに対応する。

イ 有識者の招へいに係る経費の一部を負担

5 他自治体の取組（一部抜粋）

- (1) 立川市 市所有井戸26か所でモニタリング調査実施
- (2) 武蔵野市 調査を希望する市内の民間井戸100か所程度の調査
- (3) 調布市 市有地（防災井戸・湧水）、民間管理地計46か所の調査
- (4) 国分寺市 防災井戸25か所等

(ng/L)

No.	測定地点 (丸数字はブロック)	PFOS及びPFOA	PFOS	PFOA	PFHxS	備考(調査年度)
1	千代田区①	2.7	1.5	1.2	2.1	令和4年度
2	千代田区③	11	5.8	5.4	0.4	令和5年度
3	中央区②	0.7	0.2	0.5	0.1未満	令和5年度
4	中央区④	3.2	1.5	1.7	0.2	令和3年度
5	港区①	25	11	14	5.7	令和4年度
6	港区②	46	27	19	12	令和5年度
7	港区③	9.0	3.8	5.2	3.1	令和5年度
8	港区④	42	15	27	12	令和3年度
9	新宿区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
10	新宿区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
11	新宿区③	24	9.3	15	2.3	令和5年度
12	新宿区④	9.6	8.8	0.8	3.6	令和3年度
13	文京区①	2.5	2.2	0.3	0.2	令和4年度
14	文京区②	120	110	10	24	令和5年度
15	文京区③	0.3	0.1	0.2未満	0.1	令和5年度
16	文京区④	70	47	23	8.1	令和3年度
17	台東区①	2.5	0.7	1.8	0.8	令和4年度
18	台東区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
19	台東区③	67	35	32	3.6	令和5年度
20	台東区④	7.4	4.2	3.2	0.9	令和3年度
21	墨田区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
22	墨田区③	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和5年度
23	江東区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
24	江東区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
25	品川区①	12	7.2	5.1	1.1	令和4年度
26	品川区②	7.4	5.5	1.9	0.5	令和5年度
27	品川区③	23	5.7	17	0.7	令和5年度
28	品川区④	33	23	10	5.1	令和3年度
29	目黒区①	16	5.6	11	1.5	令和4年度
30	目黒区②	8.6	5.9	2.7	1.1	令和5年度
31	目黒区③	36	10	26	1.9	令和5年度
32	目黒区④	29	6.5	23	1.9	令和3年度
33	大田区①	11	7.2	4.0	7.2	令和4年度
34	大田区②	6.7	2.6	4.1	2.1	令和5年度
35	大田区③	12	0.7	11	0.3	令和5年度
36	大田区④	33	18	15	0.9	令和3年度
37	大田区⑤	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和4年度
38	大田区⑥	8.5	3.8	4.7	1.0	令和5年度
39	大田区⑦	8.9	4.7	4.1	0.9	令和5年度
40	大田区⑧	31	2.8	29	1.2	令和3年度
41	世田谷区①	0.5	0.1未満	0.4	0.1未満	令和4年度
42	世田谷区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1	令和5年度
43	世田谷区③	8.5	4.8	3.6	1.9	令和5年度
44	世田谷区④	6.4	3.4	3.0	5.1	令和3年度
45	世田谷区⑤	18	7.2	11	0.7	令和4年度
46	世田谷区⑥	3.5	2.5	0.9	1.0	令和5年度
47	世田谷区⑦	21	6.0	15	1.4	令和5年度
48	世田谷区⑧	32	18	14	2.3	令和3年度
49	世田谷区⑨	74	47	27	12	令和4年度
50	世田谷区⑩	1.7	0.3	1.4	0.1	令和5年度
51	世田谷区⑪	74	60	14	0.8	令和5年度
52	世田谷区⑫	11	4.5	7.0	1.1	令和3年度
53	渋谷区①	8.5	4.4	4.1	2.7	令和4年度
54	渋谷区②	48	22	26	5.0	令和5年度
55	渋谷区③	4.4	2.8	1.6	0.7	令和5年度
56	渋谷区④	330	0.5	330	1.4	令和3年度
57	中野区①	11	7.8	3.7	5.4	令和4年度
58	中野区②	0.6	0.3	0.3	0.7	令和5年度
59	中野区③	11	6.9	4.8	6.7	令和5年度
60	中野区④	28	22	6.7	13	令和3年度

※「網掛け部分」は、指針値（暫定）超過を示す

※ 指針値（暫定）：令和2年5月28日水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について（通知）

※ 指針値（暫定）は、PFOS及びPFOAの合算値である

※ PFHxSについては、指針値等は設定されていない

(ng/L)

No.	測定地点 (丸数字はブロック)	PFOS及びPFOA	PFOS	PFOA	PFHxS	備考(調査年度)
61	杉並区①	38	30	8.5	15	令和4年度
62	杉並区②	6.5	4.9	1.5	1.4	令和5年度
63	杉並区③	31	24	7.8	15	令和5年度
64	杉並区④	11	6.0	5.3	1.0	令和3年度
65	豊島区①	1.2	0.7	0.5	0.2	令和4年度
66	豊島区②	15	8.8	6.2	2.8	令和5年度
67	豊島区③	7.4	5.5	1.9	3.1	令和5年度
68	豊島区④	4.2	2.5	1.7	0.8	令和3年度
69	北区①	0.3	0.1	0.2	0.1未満	令和4年度
70	北区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
71	北区③	0.3	0.1	0.2	0.1未満	令和5年度
72	北区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
73	荒川区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
74	荒川区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
75	荒川区③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
76	荒川区④	8.6	3.0	5.6	1.1	令和3年度
77	板橋区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
78	板橋区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
79	板橋区③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
80	板橋区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
81	板橋区⑤	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
82	板橋区⑥	49	36	13	1.0	令和5年度
83	板橋区⑦	19	11	7.9	0.9	令和5年度
84	板橋区⑧	15	5.9	10	1.6	令和3年度
85	練馬区①	18	14	4.0	4.9	令和4年度
86	練馬区②	56	50	6.1	14	令和5年度
87	練馬区③	32	22	9.9	10	令和5年度
88	練馬区④	12	7.1	5.2	3.0	令和3年度
89	練馬区⑤	15	8.6	7.2	1.6	令和4年度
90	練馬区⑥	58	49	8.9	36	令和5年度
91	練馬区⑦	77	67	9.7	38	令和5年度
92	練馬区⑧	19	9.2	9.9	1.7	令和3年度
93	足立区①	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和4年度
94	足立区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
95	足立区③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
96	足立区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
97	足立区⑤	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
98	足立区⑥	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
99	足立区⑦	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
100	足立区⑧	0.3	0.1	0.2	0.1未満	令和3年度
101	足立区⑨	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
102	足立区⑩	58	52	6.6	2.3	令和5年度
103	足立区⑪	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
104	足立区⑫	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
105	葛飾区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
106	葛飾区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
107	葛飾区③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
108	葛飾区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
109	葛飾区⑤	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
110	葛飾区⑥	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
111	葛飾区⑦	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
112	葛飾区⑧	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
113	江戸川区①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
114	江戸川区②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
115	江戸川区③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
116	江戸川区④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
117	江戸川区⑤	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
118	江戸川区⑥	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
119	江戸川区⑦	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
120	江戸川区⑧	29	2.4	27	0.6	令和3年度

※「網掛け部分」は、指針値(暫定)超過を示す

※指針値(暫定):令和2年5月28日水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(通知)

※指針値(暫定)は、PFOS及びPFOAの合算値である

※PFHxSについては、指針値等は設定されていない

(ng/L)

No.	測定地点 (丸数字はブロック)	PFOS及びPFOA	PFOS	PFOA	PFHxS	備考(調査年度)
121	八王子市①	0.4	0.2	0.2	0.1未満	令和5年度
122	八王子市②	0.6	0.4	0.2未満	0.1未満	令和5年度
123	八王子市③	0.9	0.7	0.2未満	0.2	令和5年度
124	八王子市④	4.3	2.4	1.9	0.2	令和5年度
125	八王子市⑤	99	91	7.7	91	令和5年度
126	八王子市⑥	0.6	0.4	0.2未満	0.1	令和5年度
127	八王子市⑦	19	14	4.5	5.6	令和5年度
128	八王子市⑧	0.8	0.5	0.2	未測定	令和3年度
129	八王子市⑨	1.3	1.0	0.3	未測定	令和4年度
130	八王子市⑩	24	17	6.5	0.5	令和5年度
131	八王子市⑪	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
132	八王子市⑫	25	17	8.0	未測定	令和3年度
133	八王子市⑬	0.5	0.37	0.17	未測定	令和4年度
134	八王子市⑭	8.0	4.8	3.2	未測定	令和5年度
135	八王子市⑮	1.3	0.4	0.9	0.5	令和5年度
136	八王子市⑯	0.8	0.6	0.2未満	0.9	令和5年度
137	八王子市⑰	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.2	令和5年度
138	八王子市⑱	0.3未満	0.15未満	0.15未満	未測定	令和5年度
139	八王子市⑲	18	1.8	16	1.2	令和5年度
140	八王子市⑳	17	1.8	16	1.2	令和5年度
141	立川市①	170	160	14	61	令和4年度
142	立川市②	140	93	49	140	令和5年度
143	立川市③	8.3	5.4	2.9	2.9	令和5年度
144	立川市④	16	10	6.5	5.2	令和3年度
145	武蔵野市①	65	55	10	36	令和4年度
146	武蔵野市②	85	76	8.7	46	令和5年度
147	武蔵野市③	48	38	10	31	令和5年度
148	武蔵野市④	22	16	6.5	6.8	令和3年度
149	三鷹市①	41	33	8.7	25	令和4年度
150	三鷹市②	20	14	6.0	7.9	令和5年度
151	三鷹市③	23	16	7.1	17	令和5年度
152	三鷹市④	3.2	1.5	1.7	0.4	令和3年度
153	青梅市①	0.3	0.1未満	0.2	0.1未満	令和4年度
154	青梅市②	5.8	0.4	5.4	0.2	令和5年度
155	青梅市③	5.1	2.8	2.2	0.3	令和5年度
156	青梅市④	140	99	46	24	令和3年度
157	府中市①	260	230	31	140	令和4年度
158	府中市②	120	110	15	51	令和5年度
159	府中市③	99	83	16	56	令和5年度
160	府中市④	8.1	3.6	4.5	21	令和3年度
161	昭島市①	14	6.3	7.8	2.5	令和4年度
162	昭島市②	18	13	4.6	3.6	令和5年度
163	昭島市③	9.7	3.2	6.5	1.1	令和5年度
164	昭島市④	15	10	5.2	6.9	令和3年度
165	調布市①	30	13	17	24	令和4年度
166	調布市②	0.3	0.1	0.2	0.1	令和5年度
167	調布市③	0.4	0.1未満	0.3	0.3	令和5年度
168	調布市④	16	7.7	8.5	1.9	令和3年度
169	町田市①	2.5	2.0	0.4	未測定	令和4年度
170	町田市②	9.1	4.7	4.3	未測定	令和5年度
171	町田市③	1.3	1.1	0.2未満	0.4	令和5年度
172	町田市④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	未測定	令和3年度
173	町田市⑤	2.7	2.3	0.3	未測定	令和4年度
174	町田市⑥	0.6	0.2	0.4	未測定	令和5年度
175	町田市⑦	11	8.2	3.6	2.4	令和5年度
176	町田市⑧	4.4	2.5	1.8	未測定	令和3年度
177	町田市⑨	32	26	6.3	未測定	令和4年度
178	町田市⑩	2.5	0.1	2.4	未測定	令和5年度
179	町田市⑪	4.0	2.9	1.0	0.9	令和5年度
180	町田市⑫	6.7	5.0	1.6	未測定	令和3年度
181	小金井市①	28	19	9.5	25	令和4年度
182	小金井市②	7.9	5.1	2.8	6.1	令和5年度
183	小金井市③	48	41	7.4	19	令和5年度
184	小金井市④	1.7	1.1	0.6	1.6	令和3年度
185	小平市①	40	28	12	9.8	令和4年度
186	小平市②	80	68	12	69	令和5年度
187	小平市③	85	61	23	63	令和5年度
188	小平市④	44	34	10	33	令和3年度

※「網掛け部分」は、指針値(暫定)超過を示す

※指針値(暫定):令和2年5月28日水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(通知)

※指針値(暫定)は、PFOS及びPFOAの合算値である

※PFHxSについては、指針値等は設定されていない

(ng/L)

No.	測定地点 (丸数字はブロック)	PFOS及びPFOA	PFOS	PFOA	PFHxS	備考(調査年度)
189	日野市①	12	7.3	4.9	1.4	令和4年度
190	日野市②	13	10	3.3	3.6	令和5年度
191	日野市③	18	12	6.0	4.8	令和5年度
192	日野市④	12	2.2	10	0.9	令和3年度
193	東村山市①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
194	東村山市②	0.4	0.1	0.2	0.1	令和5年度
195	東村山市③	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和5年度
196	東村山市④	0.8	0.6	0.2未満	0.5	令和3年度
197	国分寺市①	7.8	4.0	3.8	0.6	令和4年度
198	国分寺市②	41	35	5.9	14	令和5年度
199	国分寺市③	140	110	27	120	令和5年度
200	国分寺市④	46	37	9.7	32	令和3年度
201	国立市①	190	170	21	96	令和4年度
202	国立市②	12	6.5	5.5	1.1	令和5年度
203	国立市③	73	63	10	38	令和5年度
204	国立市④	93	78	15	61	令和3年度
205	福生市①	10	3.9	6.5	1.3	令和4年度
206	福生市②	19	11	7.5	1.7	令和5年度
207	福生市③	3.8	2.1	1.6	0.5	令和5年度
208	福生市④	13	6.9	6.2	1.8	令和3年度
209	狛江市①	1.2	0.6	0.6	1.7	令和4年度
210	狛江市②	35	24	11	13	令和5年度
211	狛江市③	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和5年度
212	狛江市④	410	400	12	99	令和3年度
213	東大和市①	3.6	2.1	1.5	0.3	令和4年度
214	東大和市②	7.5	4.3	3.1	0.5	令和5年度
215	東大和市③	48	30	18	24	令和5年度
216	東大和市④	12	7.3	5.6	2.6	令和3年度
217	清瀬市①	2.5	1.3	1.2	0.6	令和4年度
218	清瀬市②	22	15	6.9	2.8	令和5年度
219	清瀬市③	0.8	0.3	0.4	0.2	令和5年度
220	清瀬市④	21	16	5.3	2.0	令和3年度
221	東久留米市①	12	6.9	5.9	6.3	令和4年度
222	東久留米市②	14	10	3.9	2.1	令和5年度
223	東久留米市③	22	17	5.0	7.7	令和5年度
224	東久留米市④	18	15	3.4	8.2	令和3年度
225	武蔵村山市①	65	36	29	27	令和4年度
226	武蔵村山市②	4.3	3.9	0.4	0.1	令和5年度
227	武蔵村山市③	4.2	0.1未満	4.1	0.1未満	令和5年度
228	武蔵村山市④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
229	多摩市①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1	令和4年度
230	多摩市②	2.6	1.9	0.7	0.2	令和5年度
231	多摩市③	0.4	0.1未満	0.3	0.1	令和5年度
232	多摩市④	5.7	3.4	2.3	3.8	令和3年度
233	稲城市①	7.6	6.2	1.4	1.9	令和4年度
234	稲城市②	1.5	0.2	1.2	0.1未満	令和5年度
235	稲城市③	2.1	1.5	0.6	0.5	令和5年度
236	稲城市④	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和3年度
237	羽村市①	1.5	0.6	0.9	0.1	令和4年度
238	羽村市②	10	5.7	4.7	0.5	令和5年度
239	羽村市③	7.4	4.6	2.8	1.5	令和5年度
240	羽村市④	19	12	7.4	0.6	令和3年度
241	あきる野市①	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	令和4年度
242	あきる野市②	0.8	0.4	0.3	0.2	令和5年度
243	あきる野市③	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
244	あきる野市④	1.9	0.4	1.5	0.2	令和3年度
245	西東京市①	26	20	6.9	9.9	令和4年度
246	西東京市②	20	15	4.6	5.8	令和5年度
247	西東京市③	80	71	8.7	36	令和5年度
248	西東京市④	12	8.3	4.3	4.2	令和3年度
249	瑞穂町①	8.5	4.1	4.4	1.3	令和4年度
250	瑞穂町②	9.9	5.4	4.4	1.5	令和5年度
251	瑞穂町③	15	7.5	7.5	1.1	令和5年度
252	瑞穂町④	2.8	2.1	0.7	0.5	令和3年度
253	日の出町①	1.0	0.5	0.5	0.1未満	令和4年度
254	日の出町②	2.0	1.4	0.6	0.1	令和5年度
255	日の出町③	0.4	0.1	0.2	0.1未満	令和5年度
256	日の出町④	10	3.2	7.4	0.4	令和3年度
257	檜原村②	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和5年度
258	檜原村④	1.2	0.6	0.6	0.1未満	令和3年度
259	奥多摩町①	0.3未満	0.1未満	0.2未満	0.1未満	令和4年度
260	奥多摩町③	1.6	0.8	0.7	0.1未満	令和5年度

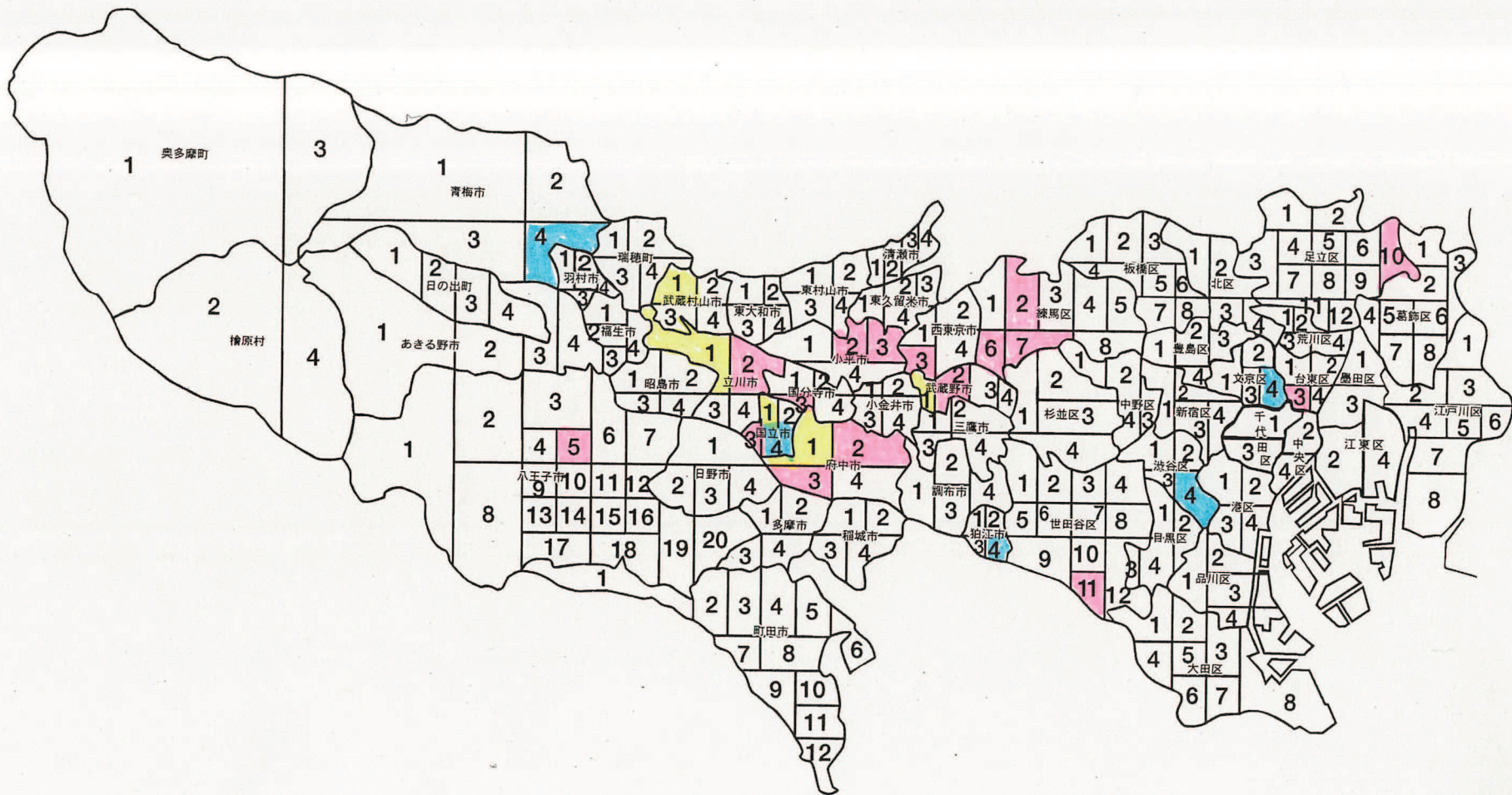
※「網掛け部分」は、指針値(暫定)超過を示す

※指針値(暫定):令和2年5月28日水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(通知)

※指針値(暫定)は、PFOS及びPFOAの合算値である

※PFHxSについては、指針値等は設定されていない

暫定指針値 (50 ng/l) を超過した箇所



地下水質調査 測定ブロック図 (平成22年度以降)

- 令和3年度
- 令和4年度
- 令和5年度

令和6年8月30日

環境部下水道課

小金井市の雨水浸透施設設置の取り組みについて

1 小金井市の背景

当市の下水道事業は昭和44年から着手し、昭和56年に市内全域に下水道が普及して合流区域約85%、分流区域15%となっています。

公共下水道の普及で、屋根と道路の雨水はすべて公共下水道へ取込むようになりました。合流区域では多量の雨水が汚水と一緒に処理場へ流れ処理場の負担が増大するようになったほか、豪雨時、野川で雨水吐け口から越流した汚水が流れ込み水質汚濁の原因にもなりました。分流区域では、短時間で多量の雨水が河川へ流出するため、野川の水量が急激に増え氾濫等の原因になりました。下水道整備によって野川の水質汚濁は解決すると考えられていましたが、湧水の減少、野川の枯渇の危機に直面することとなりました。

このことから、浸水対策、地下水・湧水保全を目的として浸透施設の導入に至りました。

2 条例や助成制度、計画について

(1) 条例等

- ・小金井市下水道条例第2条の2(2)

「～雨水を排除すべきものについては、多孔管その他雨水を地下に浸透させる機能を有するものとするができる。」

- ・雨水浸透施設の技術指導基準(昭和63年9月～)

上記2つは強制ではなく設置のお願いです。なお、開発にかかるものは開発要綱において設置すること(義務)としています。

浸透ますの重要性を請負の指定工事店や施主に説明し、協力をお願いしたところ、特に指定店の全面的協力を得ることができました。条例で定めている排水設備新設・増改築の届出を設置対象(浸透施設設置禁止区域除く)とし、建物の新築・増改築の際、屋根雨水は浸透施設で処理する指導を行っています。

(2) 助成

小金井市雨水浸透施設等設置助成金交付要綱(平成5年4月～)

助成対象は昭和63年8月以前の既存建物で1件当たり40万円を限度として浸透ます設置工事費を助成しています。建物の新築・増改築の際に助成制度はありません。

令和5年度実績 申請1件 設置数7基

(3) 小金井市下水道総合計画(令和5年3月)

施策「効率的・効果的な雨水対策の推進」、「水環境の保全」において、雨水浸透施設を家屋や公共施設、車道などへ設置促進。

3 設置実績（令和5年度末時点）

（1）家屋や公共施設等に浸透ます設置の指導

浸透ます設置率71.3%

浸透ます設置軒数19,716軒

浸透可能家屋軒数27,621軒（浸透施設設置禁止区域除く）

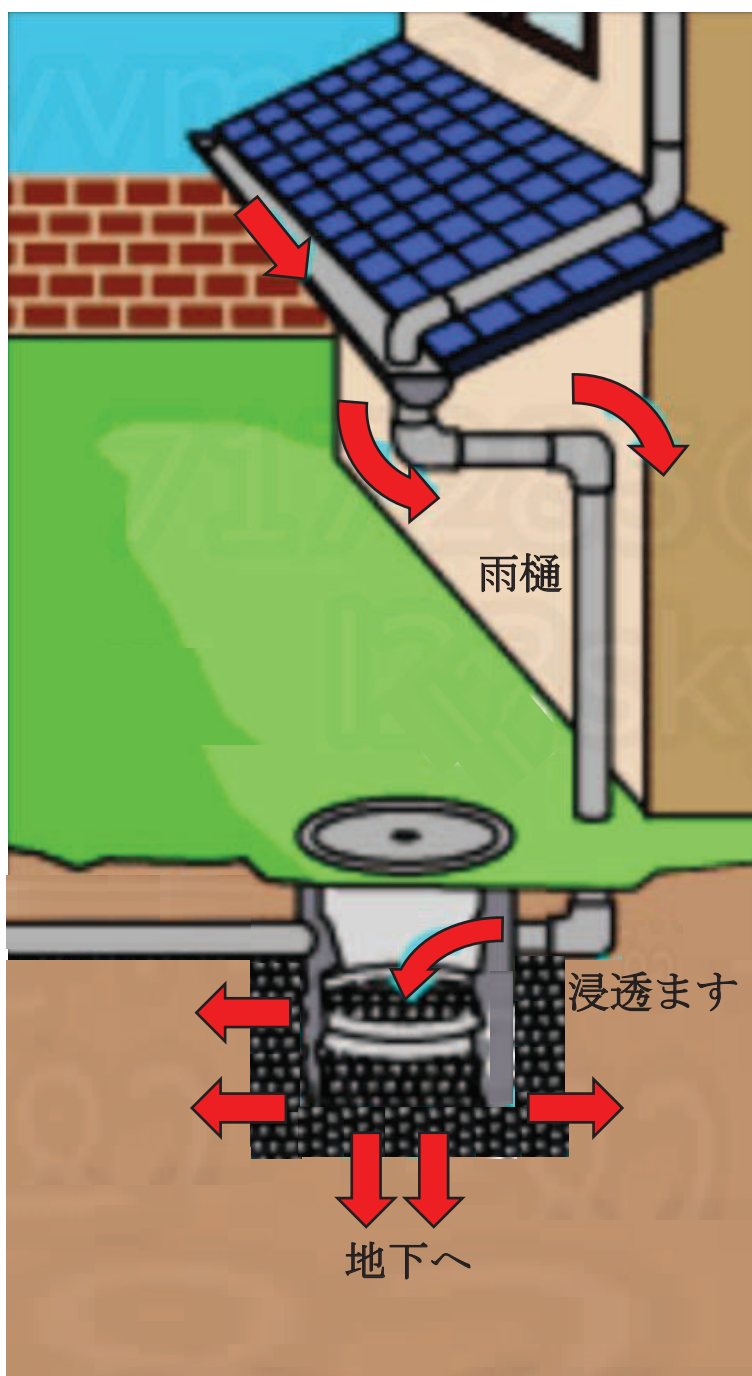
（2）道路への雨水浸透ますの設置

累計815基設置（平成22年度～）

令和6年度34基予定

4 課題

浸透効果の把握・周知



令和6年度 環境講座

小金井の地下水 を学ぶ

令和6年8月29日(木)

資料4
小金井市地下水保全会議

一本日のスケジュール

	場 所	内 容
10:00	環境楽習館	ガイダンス（15分程度）
10:15	（移動）	滄浪泉園緑地へ移動
10:25	滄浪泉園緑地	湧水測定（実演・実測） （1）水温、EC（電気伝導率）、pHの測定 （2）パックテスト、流量の測定等
11:25	（移動）	環境楽習館へ移動
11:30	環境楽習館	まとめ・解散

— 講師のご紹介 —

にほんだいがく ぶんりがくぶ

ちきゅうかがっか

日本大学 文理学部 地球科学科

きょうじゅ

やまなか

まさる

教授 山中 勝 さん

水の環境や循環に関する問題等を扱い、研究されています。

【主な著書・論文】

「名水を訪ねて東京都多摩地域の名水—再訪の名水を含めて—」

「東京都の武蔵野台地における不圧地下水の流動にともなう水質変化とその要因」
等多数

【委員歴】

公益社団法人 日本地下水学会

理事

小金井市地下水保全会議

副会長

等多数

—小金井市の地名の由来—

こがね

黄金に値する豊富な水がでることから

「**黄金**の井戸」⇒「**黄金**井」⇒「**小金井**」

等、諸説あり



クイズ!



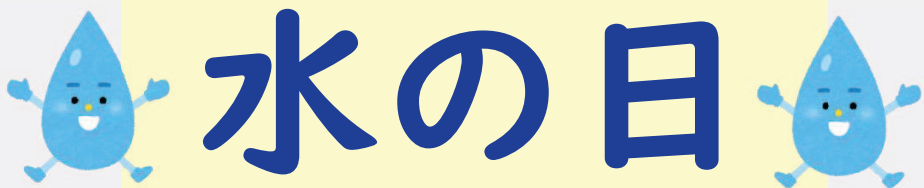
7月第3月曜日は?



8月11日は?



では、8月1日
は何の日？



8月1日を「水の日」とし、8月1日～7日を「水の週間」として、水に関する様々な啓発行事を実施しています。

めぐる水、みんなで

水はそのいく先々で、
全ての生き物を、人々を支えています
みんなで守ろう
水が、まちが、私たちが
健やかであるために

8月1日は
水の日

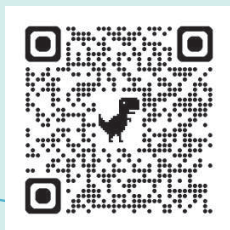


2024ミス日本
「水の天使」
安井 南

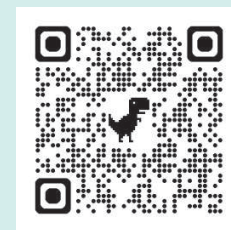
地下水って？ そもそも水はどこからやってくる？



[「水」のおはなし \(youtube.com\)](#)



[【解説】1分でわかる！地下水のはなし \(youtube.com\)](#)



出典：国土交通省

そうろうせんえんりょくち

滄浪泉園緑地って？



めいめい もとしゅしょう いぬかい つよし
命名は元首相・犬養毅

明治・大正期に三井銀行の役員、外交官、衆議院議員などを歴任し、活躍した波多野 承五郎氏の別荘の庭園で、小金井市の歴史と共に歩んできた「はけと湧水」をたくみに生かした由緒ある緑地

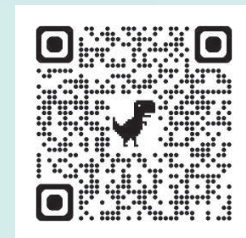
東京の名湧水57選にも選ばれています。

— 東京都の名湧水57選 —

小金井市では

- ・ 滄浪泉園緑地
- ・ 貫井神社
- ・ はけの森美術館

の3か所が選ばれています。



出典：東京都環境局HP

環境楽習館と滄浪泉園緑地のVRを市HPで公開しています。是非、のぞいてみてね！



[環境楽習館VRツアー \(koganei-gakusyukan.com\)](http://koganei-gakusyukan.com)

出典：小金井市HP

⚠️⚠️ 注意事項 ⚠️⚠️

このあと、滄浪泉園に移動します。

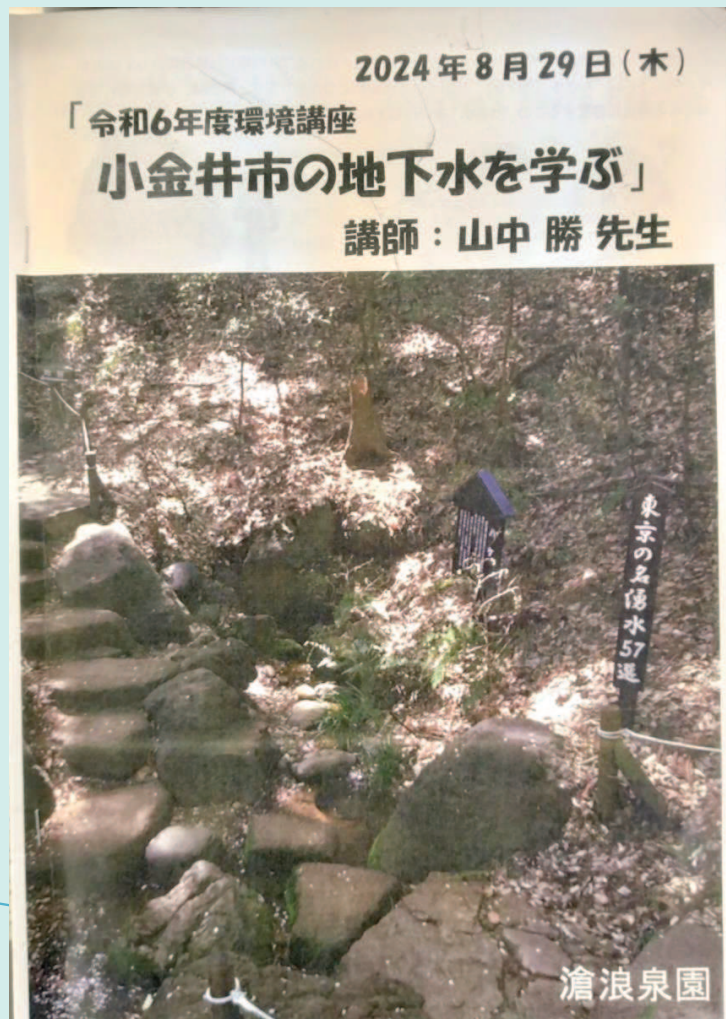
自転車、歩行者には気を付けましょう。

水分補給をしっかりと しましょう。

体調が途中で悪くなったら無理せず、近くの職員に声をかけましょう。

滄浪泉園緑地には蚊がたくさんいます。虫よけ対策は万全にしてください。
(虫よけスプレーが必要な場合、職員に話してね。)

当日の様子



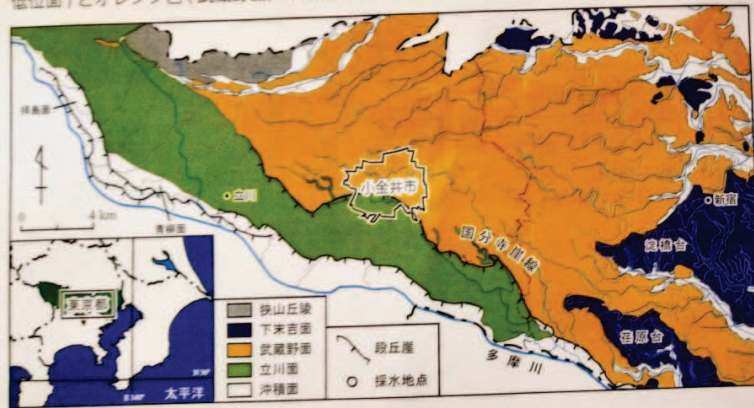
小金井市には“国分寺崖線(こくぶんじがいせん)”とよばれる崖線があります。今回は、小金井市に住む皆さんの身近に存在するこの“わき水”をいっしょに調べてみましょう!!

講師：山中勝先生

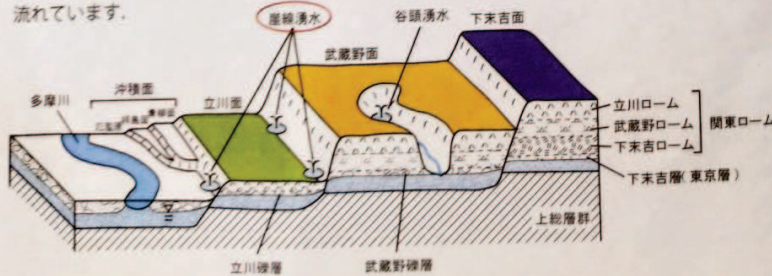


世田谷区にある“日本大学文理学部”で大学教員(教授)をしています。地下水の水質に関する研究などを行っています。

小金井市を含めた東京都の“地形(地面のでこぼこ)”を示した地図です。黄緑色(立川面、低位面)とオレンジ色(武蔵野面、中位面)の境目には“がけ(坂)”があります。



地形面(立川面、武蔵野面など)の境目にある“がけ(坂)”からは下の絵のような形で、地下水がわき出します。この“がけ”の下にある“わき水”は“崖線湧水(がいせんゆうすい)”とよばれています。小金井市ではこの崖線湧水の水が集まって、崖の下で“野川”となって流れています。



小金井市にある“滄浪泉園(そうろうせんえん)”には“崖線湧水”が存在しており、この“わき水”は“東京の名湧水(めいゆうすい)57選”の一つに選ばれています。今回はこの“わき水”について次のことを皆と一緒に調べてみよう!!

「どれくらいの量がわき出しているのかなあ？」
 「温度はどれくらいだろう？」
 「この“わき水”の水質はどうなの？」



○「どれくらいの量がわき出しているのかなあ？」

→“わき水”の“湧出量(ゆうしゅつりょう)”をはかってみよう!

“湧出量”=1秒間に何Lの水がわき出しているのか?

「1秒間に牛乳パック何本分？」

【はかり方】

- 1) 大きなビニール袋、ストップウォッチを準備。
- 2) ストップウォッチをもった人のスタート・ストップの合図にあわせて、この間にわき出す水をすべて大きなビニール袋で受け取る。
- 3) 受け取った水の量を、1Lのカップ何杯分なのかをさえる。このとき袋を持ち上げるとやぶれてしまうので注意!!
- 4) ストップウォッチの秒数(5秒くらい)で、この量を割り算すれば「1秒間に何Lの水が出ているのか？」がもとめられる。



5.61リットル



「滄浪泉園では1秒間に 2.5 Lの水がわき出している」

○「温度はどれくらいだろう？」

→“わき水”の“水温”をはかってみよう!

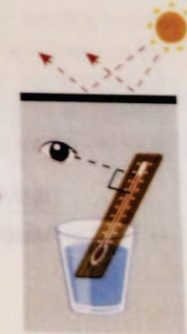
【はかり方】

- 1) ガラスの温度計を準備。割れやすいので注意!
- 2) カップに“わき水”をくみ、ここに温度計を入れる。
- 3) 温度計の温度をよみとる。このとき、次の三つに注意しながら行う。

太陽の光が温度計に直接あたらないように日影で行う。

目線と温度計との角度を90°にする。

温度計は0.1℃の位までよみとる。



「滄浪泉園の“わき水”の温度は 20.0℃だった」

○「この「わき水」の水質どうなの？」

→「わき水」の「水質」に関する次のものをはかってみよう！

- ・ EC(イーシー)
- ・ pH(ピーエイチ、ペーハー)
- ・ NO₂-N(しょうさんたいちつそ)
- ・ COD(シーオーディー)



「おせん(よごれ)」の指標(しひょう)

→「バックテスト」というカンタンなはかり方で今回は求める

・「EC って何なの？」

→「電気伝導度(でんきでんどうど)」ともいい、水中の電気を通す「モノ(イオン)」の量を表す。

「ECの値が大きい」=「わき水」の中にたくさんの「モノ」が溶け込んでいる。
単位としては「 $\mu\text{S}/\text{cm}$ (マイクロジーメンズパーセンチメートル)」を使う。

【参考】 東京都の水道水は $200\mu\text{S}/\text{cm}$ くらい

【はかり方】

- 1) EC/pHメーターの電源(でんげん)を入れる(①)。
- 2) ECセンサー(しまもよう)のキャップを外して、カップに取った「わき水」にセンサーを入れる。
- 3) MODE(モード)のボタンを数回押して、画面をECのモードにする(②)。
- 4) MEAS(そくてい)のボタンを押すと(③)、HOLDの文字が点いたり消えたりする。この文字が点いたままになったら、画面の値をよみとる(画面の単位が「 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 」でない場合には、山中先生に聞いて下さい)。
- 5) ECセンサー(しまもよう)のキャップをつける。



「滄浪泉園の「わき水」のECは 215 $\mu\text{S}/\text{cm}$ だった」

→「東京都の水道水と比べて、滄浪泉園の「わき水」中に溶け込んでいる「モノ」の量は 多い それとも 少ない ?
(「多い」もしくは「少ない」のどちらかに○をつける)

・「pH って何？」

→「酸性」、「中性」、「アルカリ性」を表す指標(しひょう)。

pH=7→「中性」、これより低いと「酸性」、高いと「アルカリ性」である。



【参考】 東京都の水道水は pH = 6.8(弱酸性) くらい
お酢・レモン: pH = 2~3(酸性)
石けん水: pH = 9~10(アルカリ性)

【はかり方】(EC/pHメーターの電源は入ったままの状態から)

- 1) MODE(モード)のボタンを数回押して、画面をpHのモードにする(④)。
- 2) pHセンサー(とうめい)のキャップを外して、カップに取った「わき水」にセンサーを入れる。このとき、センサーの青色の部分を上へスライドさせる(⑤)。
- 3) MEAS(そくてい)のボタンを押すと(⑥)、HOLDの文字が点いたり消えたりする。この文字が点いたままになったら、画面の値をよみとる。
- 4) pHセンサー(とうめい)のキャップをつけて、センサーの青色の部分を下へスライドさせる(⑦)。
- 5) EC/pHメーターの電源(でんげん)を切る(⑧)。

「滄浪泉園の「わき水」のpHは 7.03 だった。

→「東京都の水道水と比べて、滄浪泉園の「わき水」のpHは 高い それとも 低い ?
(「高い」もしくは「低い」のどちらかに○をつける)



【メモで使っているよ】

・「バックテストって?」「おせん指標のNO₃-NとCODって??」



→「バックテスト」とは野外でかんたんにはかることのできる方法

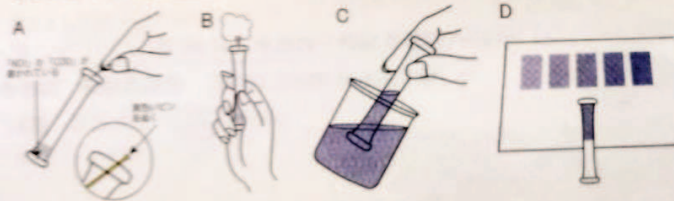
NO₃-N(しょうさんたいちすお): 肥料(ひりょう)などでよされる値が高くなる
水道水では10 mg/Lをこえてはいけない

COD(シーオーディー): 一般的なよこれ(有機物)の指標

【参考】東京都の水道水はNO₃-N = 2 mg/Lくらい
COD = 6 mg/Lくらい

【はかり方】

- 1) バックテストのはしに入っている黄色いピンをぬく(A).
- 2) 穴を上にしてバックテストを強くにぎって、中の空気を追い出す(B).
- 3) バックテストを強くにぎったまま穴をカップに取った「わき水」の水面につけて、バックテストの約半分まで水を吸い込む(C).
- 4) バックテストを数回ふって、決められた時間まで待ったら、「標準色(ひょうじゅんしよく)」と色を比べて、いちばん色が近い値を書く(D).



「滄浪泉園の「わき水」のNO₃-Nは 4 mg/L.
CODは 3 mg/Lだった」

→「東京都の水道水と比べて、滄浪泉園の「わき水」の
NO₃-Nは 高い それとも 低い ?
CODは 高い それとも 低い ?」
(「高い」もしくは「低い」のどちらかに○をつける)

今日は皆さんが住んでいる小金井市にわき出している「滄浪泉園」の「濾過水」をいっしょに調べました。楽しく学ぶことができましたか?

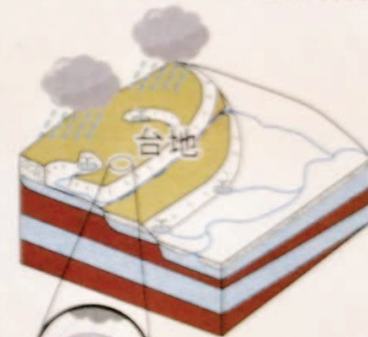
今回調べたようなことを長い間つづけてはかっていると色々なことが分かってきます。例えば、「今わき出している水は、いつ降った雨ができてきているのか?、また、どこに降った雨だったのか?」など…。色々なことを調べた結果、小金井市の「滄浪泉園」の「わき水」と同じような「国分寺崖線にある「わき水」の一部は、崖の上に降りそそいだ数ヶ月間の雨が集まってきている」ことが分かっています。

今回の経験(けいけん)をとおして、皆さんの身近にある「わき水」に少しでも興味(きょうみ)を持ってもらえれば幸いです。

【おまけ】

「がけ(坂)」の下にある「わき水」は「がけ」の上に降りそそいだ雨が集まってわき出したものです。この「わき水」がこれからもずっとわき出すためには、「がけ」の上(台地)で、雨が地面にきちんとしみこむ必要があります。これをスムーズに行わせるものとして、「雨水浸透マス(うすいしんとうます)」というものがあります。

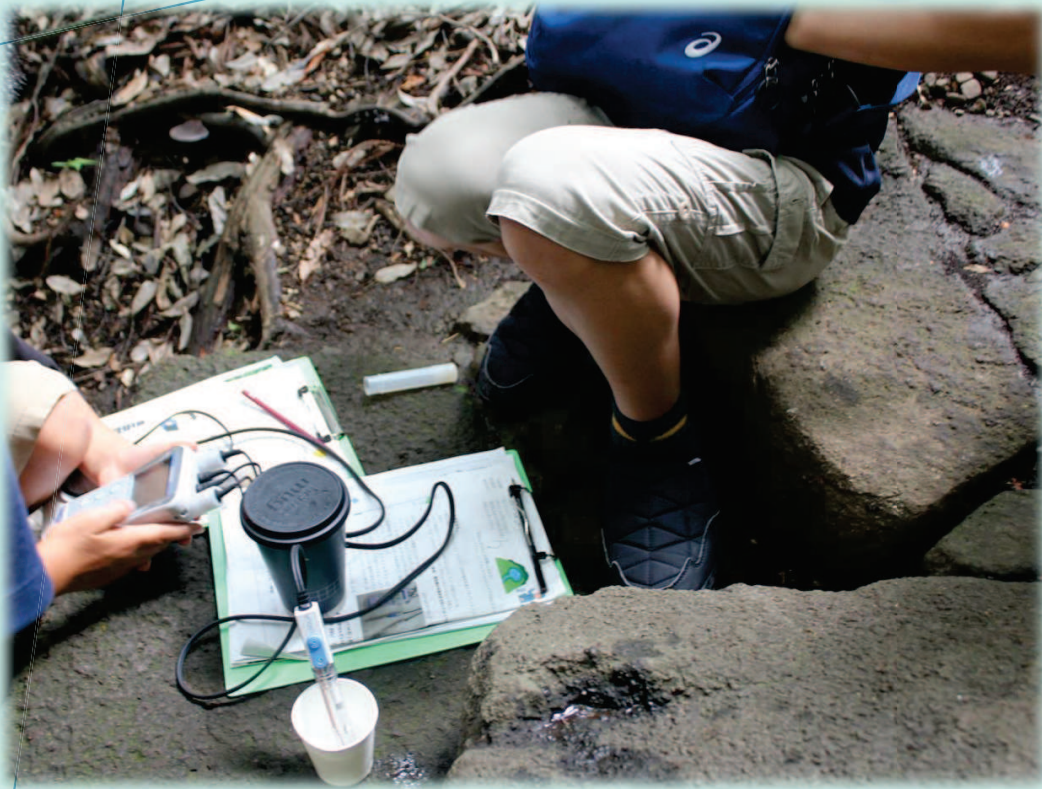
このような「浸透マス」がきちんとはたらくことで、小金井市の「わき水」が守られているといえます。小金井市の「がけ」の上(台地)にもこの「浸透マス」がたくさんありますので、ぜひさがして見て下さい。皆さんはこの夏休みに何個見つけられるでしょう?





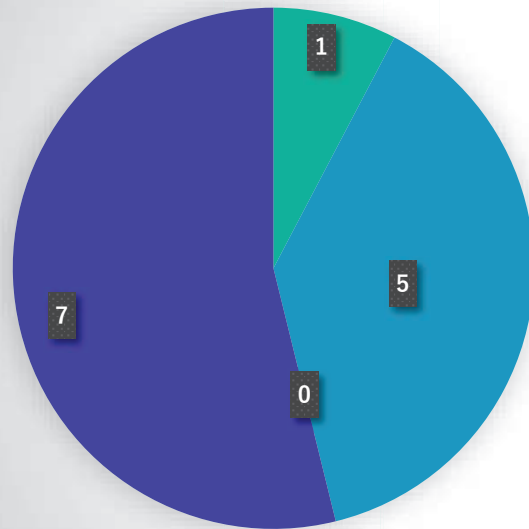






アンケート結果

今日の講義に参加したきっかけはなんですか

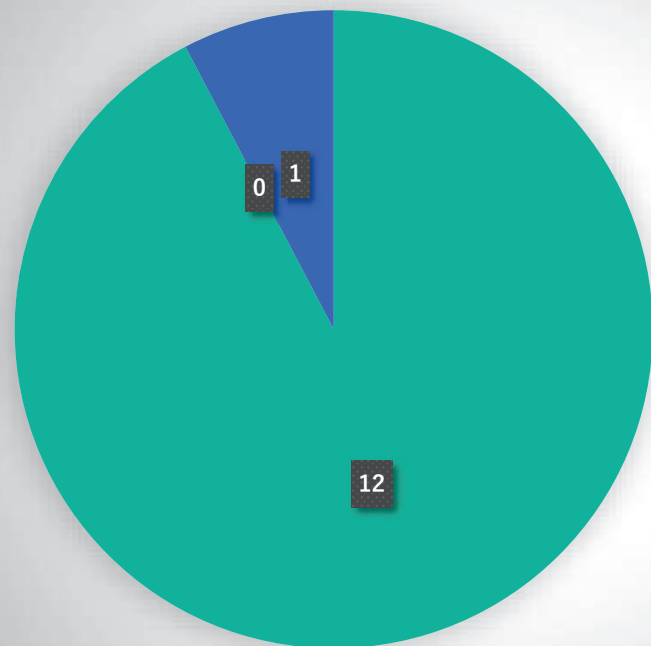


- 水や地下水に興味があったから
- 面白そうだったから
- 水質検査をしてみたかったから
- その他

【その他回答例】

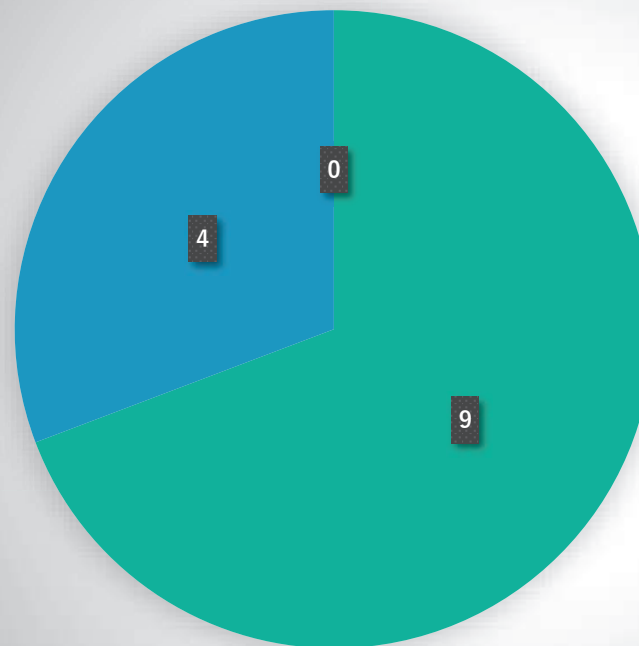
- ・ 両親の勧め
- ・ 友人に誘われて
- ・ 自由研究によさそうだったから

今日の講義の感想は



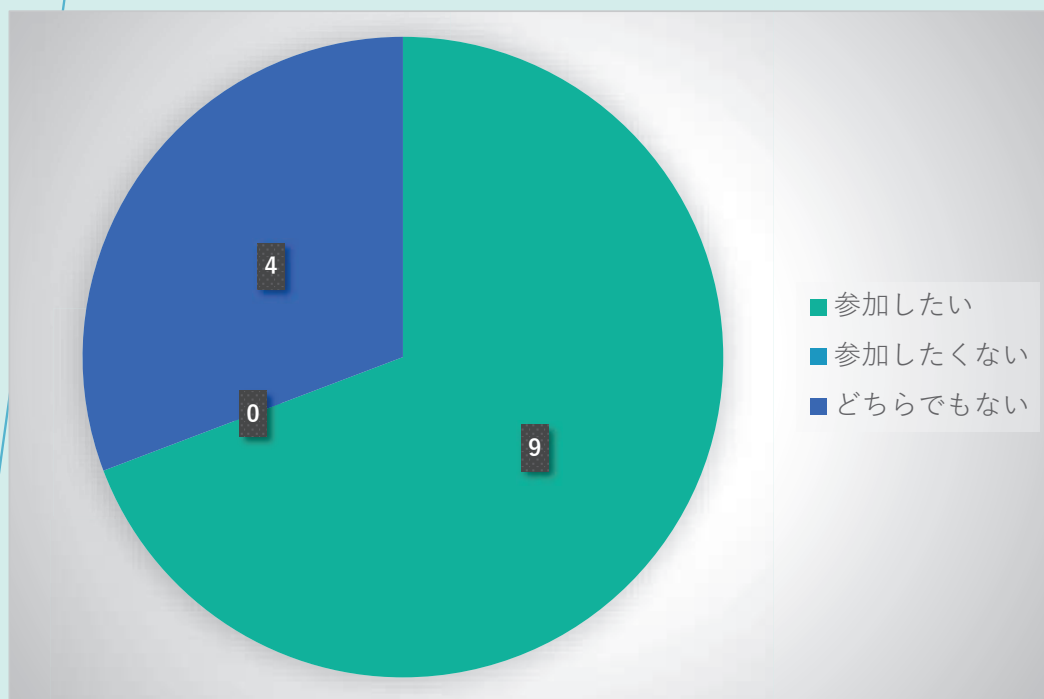
- 楽しかった
- 楽しくなかった
- どちらでもない

今日の講義の難易度は



- 分かりやすかった
- 難しかった
- 簡単だった

またこのようなイベントに
参加したいですか



今日の感想や参加したいイベント
など自由に書いてください

- ・ 下から出てくる水について、理解を深められてよかった。
- ・ 機会があったらまたやりたい
- ・ 来年もこのような楽しいイベントを用意してほしいです。
- ・ 地下水に興味はなかったけど、これをとおしてもっと知りたいと思った。
- ・ はじめての実験道具を使えてうれしかった。
- ・ わきでているところがきれいだった。
- ・ 冷たい水がさわられてうれしかった。

水質監視測定及び湧水調査

報告書

令和5年度版

小金井市

目次

1. 調査概要	
1-1. 調査件名	1
1-2. 調査目的	1
1-3. 調査地点	1
1-4. 調査実施日	3
1-5. 調査項目	3
2. 調査結果	
2-1. 井戸水調査	6
2-2. 野川調査	14
2-3. 湧水調査	16
資料編	
調査地点位置図	資-1
調査状況写真	資-4
確認された注目種	資-22

1. 調査概要

1-1. 調査件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査委託

1-2. 調査目的

(1) 井戸水調査

井戸水の有機塩素化合物による汚染状況を監視測定する。

(2) 野川調査

野川の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

(3) 湧水調査

湧水の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

1-3. 調査地点

(1) 井戸水調査

調査地点は小金井市内の井戸水 12 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(2) 野川調査

調査地点は市内下流部にあたる柳橋下の 1 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(3) 湧水調査

調査地点は市内の湧水 4 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

表-1 調査地点一覧

調査内容	試料名	試料区分	調査地点
井戸水調査	No. 2	井戸水	中町1-15
	No. 3	井戸水	中町2-15
	No. 4	井戸水	梶野町3-12
	No. 5	井戸水	関野町1-11
	No. 6	井戸水	緑町3-13
	No. 7	井戸水	桜町1-2
	No. 8	井戸水	桜町3-6
	No. 9*	井戸水	東町1-41
	No. 10	井戸水	中町2-1
	No. 11*	井戸水	緑町1-1
	No. 12*	井戸水	貫井北町5-13
	No. 13	井戸水	貫井南町2-1
野川調査	柳橋下	河川水	東町1-6
湧水調査 (水質及び 水生生物調査)	貫井神社	湧水	貫井南町3-8
	滄浪泉園	湧水	貫井南町3-2
	美術の森緑地	湧水	中町1-11
	中町四丁目公共緑地	湧水	中町4-16

※地下水位測定調査場所（詳細は地下水位測定報告書のとおり）

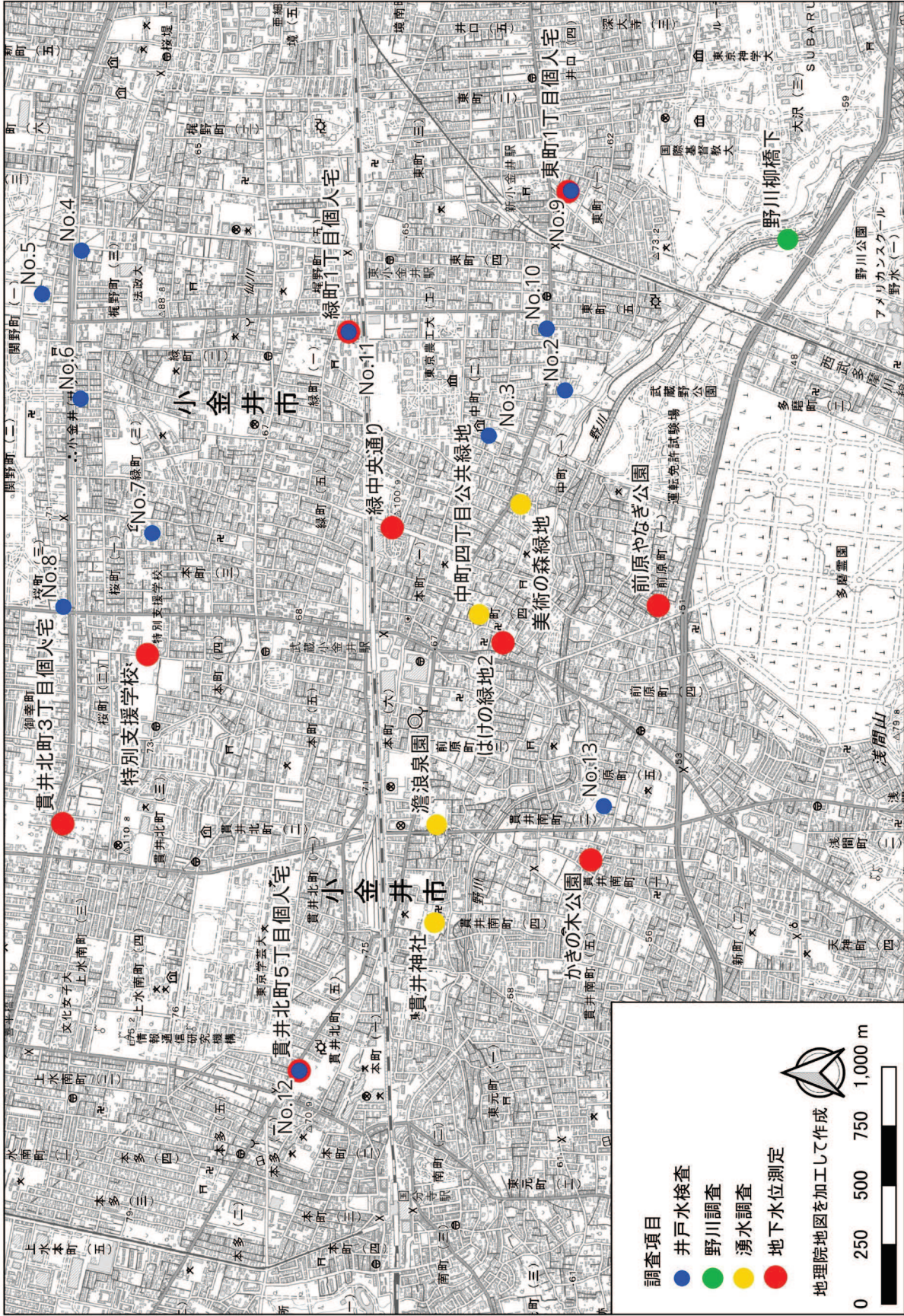


図 1-1 調査地点位置図

1-4. 調査実施日

調査実施日を表 1-2 に示す。

表 1-2 調査実施日一覧

調査内容	調査実施日		調査地点数
	回数	日	
井戸水調査	第1回目	令和5年7月18日	12 ※2月調査は 濁水により11
	第2回目	令和5年9月13日	
	第3回目	令和5年11月15日	
	第4回目	令和6年2月13日	
野川調査	第1回目	令和5年6月7日	1
	第2回目	令和5年11月2日	
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	第1回目	令和5年6月26日	4
	第2回目	令和5年12月7日	

1-5. 調査項目

(1) 井戸水調査

井戸水調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-3 に示す。

表 1-3 水質調査項目、分析方法、環境基準

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
電気伝導率	m s /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
鉛	mg/L	JIS K 0102 54.4	0.001	0.01以下
水位	m	-	-	-

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

(2) 野川調査

野川調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-4 に示す。

表 1-4 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

	項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
現場測定項目	気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
	水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
	外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
	臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
	透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
	流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	-	-
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	6.0以上 8.5以下
	溶存酸素量 (DO)	m g /L	JIS K 0102 32.1	0.5	2以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	m g /L	JIS K 0102 21, 32.3	0.5	8以下
	化学的酸素要求量(COD _{Mn})	m g /L	JIS K 0102 17	0.5	-
	浮遊物質(SS)	m g /L	S46環境庁告示第59号 付表9	1	100以下
	大腸菌数	CFU/100mL	S46環境庁告示第59号 付表10による定量法	-	-
	全窒素(T-N)	m g /L	JIS K 0102 45.4	0.05	-
	全りん(T-P)	m g /L	JIS K 0102 46.3.1	0.003	-
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (NO ₃ ⁻ -N、NO ₂ ⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 43.2, 43.2.3 JIS K 0102 43.1	0.01	10以下
その他の項目	陰イオン界面活性剤(MBAS)	m g /L	JIS K 0102 30.1.1	0.02	-
	アンモニア性窒素 (NH ₄ ⁺ -N)	m g /L	JIS K 0102 42.1, 42.2	0.01	-
	りん酸性りん (PO ₄ ³⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 46.1.1	0.003	-

環境基準値：水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)

- 1 人の健康の保護に関する環境基準
- 2 生活環境の保全に関する環境基準

(3) 湧水調査

湧水調査では、水質調査、底生生物及び付着藻類調査を行った。

① 水質調査

調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-5 に示す。

表 1-5 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	0.001	-
水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	-
電気伝導率	m ³ /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

② 水生生物調査

調査項目と採取器具を表 1-6 に示す。

表 1-6 水生生物調査項目、調査方法、採取器具一覧表

項目	調査方法	採取器具
底生生物	コドラート(方形枠)法(25cm×25cm)による採取 4箇所(川幅が狭い為、50cm四方は使用せず) ホルマリン固定 肉眼及び実体顕微鏡による同定、計数、湿重量測定	コドラート Dフレームサーバー ネット
付着藻類	礫を選定、コドラート法(5cm×5cm)による採取 1箇所 ホルマリン固定 沈殿量測定、生物顕微鏡により固定、計数	コドラート ブラシ、洗瓶

2. 調査結果

2-1. 井戸水調査

井戸水の調査結果を表 2-1 に示す。また、検出状況を表 2-2 に、環境基準の適合状況を表 2-3 に示す。

さらに令和 5 年度の平均値を表 2-4、図 2-1 及び図 2-2 に示す。

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.2 中町1-15		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 15:45	R4.7.12 14:27	R3.7.15 14:47	R5.9.13 14:25	R4.12.20 16:45	R3.9.13 14:17	R5.11.15 14:19	R5.2.6 15:22	R3.11.12 13:25	R5.2.13 14:18	R5.3.6 14:57	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	35.0	26.5	28.1	34.0	6.2	28.3	15.5	13.0	21.5	15.5	16.2	10.3	-
	水温	℃	18.3	17.8	19.5	18.3	16.5	17.9	17.1	16.3	18.5	16.9	16.4	15.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	5.9	6.4	6.6	6.3	6.4	6.6	6.2	6.3	6.3	6.2	6.4	6.4	-
	電気伝導率	mS/m	17.4	15.8	15.8	15.2	15.5	14.1	16.9	16.6	15.0	19.9	17.9	14.8	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0007	<0.0002	0.0005	0.0004	<0.0002	0.0003	0.0004	<0.0002	0.0008	0.0009	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0007	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.80	6.15	4.66	3.85	4.20	4.41	4.33	5.41	4.51	6.68	5.15	5.67	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.3 中町2-15		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 16:05	R4.7.12 14:45	R3.7.15 15:13	R5.9.13 14:40	R4.12.20 17:05	R3.9.13 14:37	R5.11.15 14:44	R5.2.6 15:42	R3.11.12 13:40	R5.2.13 14:25	R5.3.6 15:07	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	34.8	26.4	28.8	33.2	5.0	28.6	15.8	12.0	21.5	15.9	15.7	11.8	-
	水温	℃	18.2	22.1	22.8	18.3	18.5	21.5	16.0	16.5	14.5	15.7	16.1	14.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.6	7.8	6.8	7.5	7.7	7.7	8.1	7.8	6.7	7.4	8.0	7.1	-
	電気伝導率	mS/m	18.5	15.2	17.0	17.0	15.4	16.9	18.2	19.6	14.8	18.8	16.9	15.7	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	0.04	0.15	0.23	0.01	0.15	0.19	<0.01	<0.01	0.06	0.01	<0.01	0.26	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01以下

No.4 梶野町3-12		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 14:28	R4.7.12 12:56	R3.7.15 13:10	R5.9.13 11:30	R4.12.20 15:30	R3.9.13 11:40	R5.11.15 11:35	R5.2.6 13:55	R3.11.12 10:05	R5.2.13 10:26	R5.3.6 13:37	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	37.2	26.0	26.3	29.5	9.9	28.2	13.5	12.5	15.2	9.8	15.2	7.3	-
	水温	℃	21.8	21.0	21.8	20.3	12.6	19.4	15.7	14.0	14.5	14.0	14.3	11.3	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.7	7.9	7.1	8.0	7.8	7.6	8.1	7.9	6.7	7.4	8.1	7.1	-
	電気伝導率	mS/m	24.0	17.3	21.7	21.1	19.0	19.7	22.7	16.2	17.1	23.4	19.9	17.0	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	3.37	2.51	3.21	3.00	2.14	3.07	3.05	2.83	2.96	3.24	2.46	2.62	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.5 関野町1-11		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 13:25	R4.7.12 12:10	R3.7.15 11:50	R5.9.13 10:30	R4.12.20 14:49	R3.9.13 10:56	R5.11.15 9:55	R5.2.6 13:25	R3.11.12 11:05	R5.2.13 10:12	R5.3.6 13:06	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	37.5	25.2	24.6	26.5	8.0	27.4	13.2	10.2	17.0	11.0	15.3	8.8	-
	水温	℃	17.9	17.9	18.8	17.9	17.5	17.5	17.8	17.3	15.5	17.2	17.3	16.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	5.9	6.5	6.4	6.4	6.4	6.7	6.5	6.4	6.4	6.1	6.6	6.4	-
電気伝導率	mS/m	21.0	17.7	26.3	20.2	19.7	18.5	21.6	19.5	18.0	21.6	19.3	17.2	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	0.0007	<0.0002	0.0006	0.0004	<0.0002	0.0004	0.0004	<0.0002	0.0009	0.0009	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.016	0.012	<0.0002	0.0130	0.0070	<0.0002	0.0071	0.0073	<0.0002	0.011	0.014	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	0.0052	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.32	4.55	4.50	4.76	4.34	5.03	4.65	4.38	5.52	4.64	4.37	5.01	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.6 緑町3-13		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 13:45	R4.7.12 12:31	R3.7.15 12:11	R5.9.13 11:10	R4.12.20 15:07	R3.9.13 11:19	R5.11.15 11:00	R5.2.6 13:03	R3.11.12 11:15	R5.2.13 10:50	R5.3.6 13:18	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	39.4	25.4	26.8	33.0	8.5	27.8	14.2	11.8	19.0	9.3	15.6	9.0	-
	水温	℃	17.6	17.4	21.8	17.6	17.9	18.3	17.2	17.8	18.0	17.3	17.6	20.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.7	7.6	6.5	6.8	7.4	7.4	7.3	6.8	6.5	7.2	7.3	6.8	-
電気伝導率	mS/m	33.5	29.4	31.7	31.4	30.6	29.9	34.3	19.5	27.5	21.9	24.6	25.4	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0009	0.0009	<0.0002	0.0008	0.0006	0.0003	0.0005	0.0006	0.0002	0.0013	0.0013	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.033	0.020	0.0013	0.030	0.014	0.0013	0.0150	0.0032	0.002	0.010	0.017	0.0038	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.52	5.59	5.64	5.88	5.14	6.21	5.90	2.56	5.78	3.57	3.81	5.55	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.7 桜町1-2		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 11:10	R4.7.12 11:28	R3.7.15 11:07	R5.9.13 10:50	R4.12.20 14:17	R3.9.13 10:15	R5.11.15 10:15	R5.2.6 11:29	R3.11.12 10:30	R5.2.13 11:05	R5.3.6 11:25	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	36.8	26.0	25.5	28.4	9.2	25.6	13.6	12.5	17.5	11.2	15.2	7.1	-
	水温	℃	17.3	17.2	17.5	17.3	17.2	16.9	17.2	17.1	15.5	17.1	17.0	16.8	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.7	6.9	6.4	6.4	7.1	7.0	6.6	7.0	6.8	6.4	7.1	6.5	-
電気伝導率	mS/m	26.2	22.4	26.5	24.9	25.7	22.4	26.1	24.1	21.8	24.4	25.0	21.8	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0007	<0.0002	0.0007	0.0004	0.0007	0.0004	0.0003	0.0004	0.0008	0.0008	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.016	0.010	0.0052	0.0200	0.0081	0.0046	0.0086	0.0076	0.0064	0.011	0.013	0.0061	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.27	5.66	5.78	5.49	5.35	5.96	5.36	5.87	6.12	5.50	5.50	5.97	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.8 桜町3-6		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 11:35	R4.7.12 11:51	R3.7.15 11:30	R5.9.13 15:00	R4.12.20 14:32	R3.9.13 10:33	R5.11.15 10:30	R5.2.6 12:42	R3.11.12 10:55	R5.2.13 9:54	R5.3.6 12:50	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	35.5	25.4	24.0	25.5	5.0	24.4	13.5	12.7	17.5	8.9	15.7	8.5	-
	水温	℃	18.4	18.4	19.0	18.6	17.8	18.3	18.5	10.9	15.8	17.2	17.2	17.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	淡褐色透明	無色透明	無色透明	淡褐色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡灰緑色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	34	>50.0	>50.0	34	>50.0	>50.0	>50	>19.5	>50.0	-
	pH	-	6.0	6.5	6.4	6.0	6.5	6.6	6.3	6.4	6.3	6.4	6.6	6.1	-
電気伝導率	mS/m	21.4	17.7	25.9	20.4	19.7	19.7	21.7	19.1	18.6	24.2	22.2	20.4	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	0.0006	<0.0002	0.0004	0.0004	<0.0002	0.0003	0.0003	<0.0002	0.0009	0.0008	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0019	0.0016	0.0026	0.0019	0.0008	0.0024	0.0010	0.0007	0.0029	0.0017	0.0027	0.0026	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	0.0034	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.61	4.53	4.69	4.77	4.08	5.19	4.71	4.19	5.06	4.68	4.70	4.80	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.9 東町1-41		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 14:50	R4.7.12 14:10	R3.7.15 13:56	R5.9.13 13:50	R4.12.20 16:30	R3.9.13 13:55	R5.11.15 13:50	R5.2.6 14:37	R3.11.12 9:35	R5.2.13 13:25	R5.3.6 14:16	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	35.0	26.4	26.0	32.9	7.2	28.4	15.1	11.3	13.5	16.5	16.2	9.0	-
	水温	℃	18.7	19.1	19.5	19.1	16.5	18.3	17.4	10.3	15.0	17.2	16.7	14.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50	>50.0	>50.0	-
	pH	-	5.7	6.5	6.4	6.4	6.6	6.6	9.3	6.4	6.6	6.2	6.6	6.8	-
電気伝導率	mS/m	19.7	16.7	18.2	18.3	18.0	16.6	19.3	17.6	13.0	19.5	17.7	13.6	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	0.0009	<0.0002	0.0007	0.0005	<0.0002	0.0004	0.0004	<0.0002	0.0011	0.0011	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0049	0.0036	<0.0002	0.0044	0.0021	<0.0002	0.0022	0.0020	<0.0002	0.0038	0.0051	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	0.0093	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	0.0003	0.0005	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.76	5.41	5.62	5.82	4.48	5.79	5.13	5.06	4.20	5.22	4.99	4.16	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.10 中町2-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 15:30	R4.7.12 13:45	R3.7.15 14:27	R5.9.13 14:00	R4.12.20 16:00	R3.9.13 13:07	R5.11.15 14:05	R5.2.6 15:00	R3.11.12 12:15	R5.2.13 13:55	R5.3.6 14:35	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	35.5	26.2	28.4	34.6	8.5	28.0	15.5	14.5	21.5	16.6	16.4	11.3	-
	水温	℃	18.3	18.1	18.0	18.2	17.2	17.2	18.5	17.1	16.8	17.5	17.2	17.0	-
	水位	m	-	14.0	13.4	-	13.7	12.6	-	13.7	13.0	-	14.7	14.1	-
	外観(色相)	-	淡褐色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50	>50.0	>50.0	-
pH	-	5.8	6.6	6.6	6.0	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.4	6.4	7.0	6.4	-
電気伝導率	mS/m	17.6	15.6	16.2	17.1	17.1	15.2	17.6	16.6	15.5	18.3	16.7	15.5	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	0.0005	<0.0002	0.0006	0.0004	<0.0002	0.0004	0.0002	<0.0002	0.0008	0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0009	0.0008	0.0005	0.0004	<0.0002	0.0005	0.0004	<0.0002	0.0004	0.0011	0.0011	0.0003	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.08	3.77	4.71	4.62	4.00	4.34	4.28	4.16	4.35	4.72	4.41	4.93	10以下
	鉛	mg/L	0.002	0.006	<0.001	0.003	0.002	<0.001	0.003	0.006	<0.001	0.002	0.008	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.11 緑町1-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 14:27	R4.7.12 13:16	R3.7.15 13:35	R5.9.13 13:30	R4.12.20 15:45	R3.9.13 13:31	R5.11.15 11:58	R5.2.6 14:13	R3.11.12 9:50	R5.2.13 13:00	R5.3.6 13:53	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	36.5	26.0	26.9	33.0	7.5	28.4	14.6	12.8	14.8	16.8	15.2	10.0	-
	水温	℃	18.3	18.3	19.0	18.3	17.5	17.9	17.9	17.1	16.0	17.8	17.2	13.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.0	6.5	6.6	6.6	6.5	6.5	6.5	6.4	6.3	6.7	6.0	6.3	-
	電気伝導率	mS/m	19.1	16.4	16.5	18.2	18.6	15.4	19.9	18.3	15.2	20.4	18.5	14.5	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	0.0007	<0.0002	0.0006	0.0004	<0.0002	0.0004	0.0004	<0.0002	0.0009	0.0009	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0035	0.0024	0.0009	0.0033	0.0013	0.0008	0.0016	0.0014	0.0007	0.0027	0.0041	0.0006	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.03	4.85	4.46	5.05	4.59	5.36	5.07	4.77	5.48	4.98	4.68	4.78	10以下
	鉛	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.007	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01以下

No.12 貫井北町5-13		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
調査項目			単位	R5.7.18 9:52	R4.7.12 10:25	R3.7.15 10:40	R5.9.13 8:54	R4.12.20 13:54	R3.9.13 9:50	R5.11.15 9:03	R5.2.6 11:00	R3.11.12 11:45	R5.2.13	R5.3.6		R4.2.25 11:30
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	欠測	欠測	晴	-	
	気温	℃	35.5	27.6	27.0	26.5	7.8	27.0	12.5	10.5	18.5			8.5	-	
	水温	℃	18.2	18.1	18.5	18.2	17.9	17.7	17.9	15.6	15.0			15.0	-	
	水位	m	11.8	12.3	13.2	12.3	12.5	11.1	13.5	12.5	11.3			13.6	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明			中赤褐色	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭			無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0			>50.0	>50.0	-
	pH	-	5.8	6.6	6.5	5.9	6.5	6.6	7.1	6.5	6.6			6.4	-	
調査項目	電気伝導率	mS/m	21.2	17.8	21.4	20.5	20.2	20.0	20.6	19.2	17.8	17.0	-			
	トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	0.0005	<0.0002	0.0007	0.0005	<0.0002	0.0005	0.0005	<0.0002	<0.0002	0.01以下			
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0042	0.0027	0.0010	0.0038	0.0019	0.0009	0.0017	0.0020	0.0009	0.0008	0.01以下			
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下			
	硝酸性窒素	mg/L	5.41	5.68	5.60	5.46	5.25	5.87	5.22	5.48	2.74	5.73	10以下			
鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下			

※第4回調査は湧水のため欠測

No.13 貫井南町2-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R5.7.18 10:45	R4.7.12 10:58	R3.7.15 9:50	R5.9.13 9:21	R4.12.20 13:25	R3.9.13 9:20	R5.11.15 9:24	R5.2.6 10:30	R3.11.12 8:50	R5.2.13 9:32	R5.3.6 10:35	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	-
	気温	℃	37.5	27.2	26.0	26.0	6.7	26.2	12.5	13.1	16.8	8.1	11.0	7.1	-
	水温	℃	18.4	18.6	19.5	18.4	17.7	18.0	18.3	17.7	16.5	17.1	17.5	15.8	-
	水位	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.1	7.6	6.6	6.9	7.6	7.3	6.9	7.6	6.8	6.8	7.8	6.9	-
調査項目	電気伝導率	mS/m	35.8	31.0	34.8	34.0	34.8	31.6	36.4	33.6	22.0	36.5	33.5	29.8	-
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	0.13	0.190	<0.01	0.14	0.30	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01	0.21	10以下
鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	

表 2-2 検出状況一覧

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	4	0	0	4	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	3	0
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	4	0
No. 5	関野町1-11	4	4	4	1	4	1
No. 6	緑町3-13	4	4	4	0	4	0
No. 7	桜町1-2	4	4	4	0	4	0
No. 8	桜町3-6	4	4	4	0	4	0
No. 9	東町1-41	4	4	4	1	4	0
No. 10	中町2-1	4	4	4	0	4	4
No. 11	緑町1-1	4	4	4	0	4	3
No. 12	貫井北町5-13	3※	3	3	0	3	0
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

※No. 12は第4回調査時湯水のため全3回の調査

表 2-3 環境基準超過状況（基準超過検体数）

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	0	0	0	0	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	0	0
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	0	0
No. 5	関野町1-11	4	0	3	0	0	0
No. 6	緑町3-13	4	0	3	0	0	0
No. 7	桜町1-2	4	0	3	0	0	0
No. 8	桜町3-6	4	0	0	0	0	0
No. 9	東町1-41	4	0	0	0	0	0
No. 10	中町2-1	4	0	0	0	0	0
No. 11	緑町1-1	4	0	0	0	0	0
No. 12	貫井北町5-13	3※	0	0	0	0	0
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

表 2-4 令和5年度平均値

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	0.0005	0.0002	0.0002	4.92	0.001
No. 3	中町2-15	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.02	0.001
No. 4	梶野町3-12	4	0.0002	0.0002	0.0002	3.17	0.001
No. 5	関野町1-11	4	0.0006	0.0118	0.0002	4.59	0.001
No. 6	緑町3-13	4	0.0009	0.0220	0.0002	5.22	0.001
No. 7	桜町1-2	4	0.0006	0.0139	0.0002	5.41	0.001
No. 8	桜町3-6	4	0.0005	0.0016	0.0002	4.69	0.001
No. 9	東町1-41	4	0.0007	0.0038	0.0002	5.48	0.001
No. 10	中町2-1	4	0.0006	0.0008	0.0002	4.43	0.003
No. 11	緑町1-1	4	0.0006	0.0028	0.0002	5.03	0.003
No. 12	貫井北町5-13	3※	0.0006	0.0032	0.0002	5.36	0.001
No. 13	貫井南町2-1	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.01	0.001

平均値の算出は環境省公布「環水規 51 号 (H11. 3. 12)」に基づき「報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値」として取り扱った。

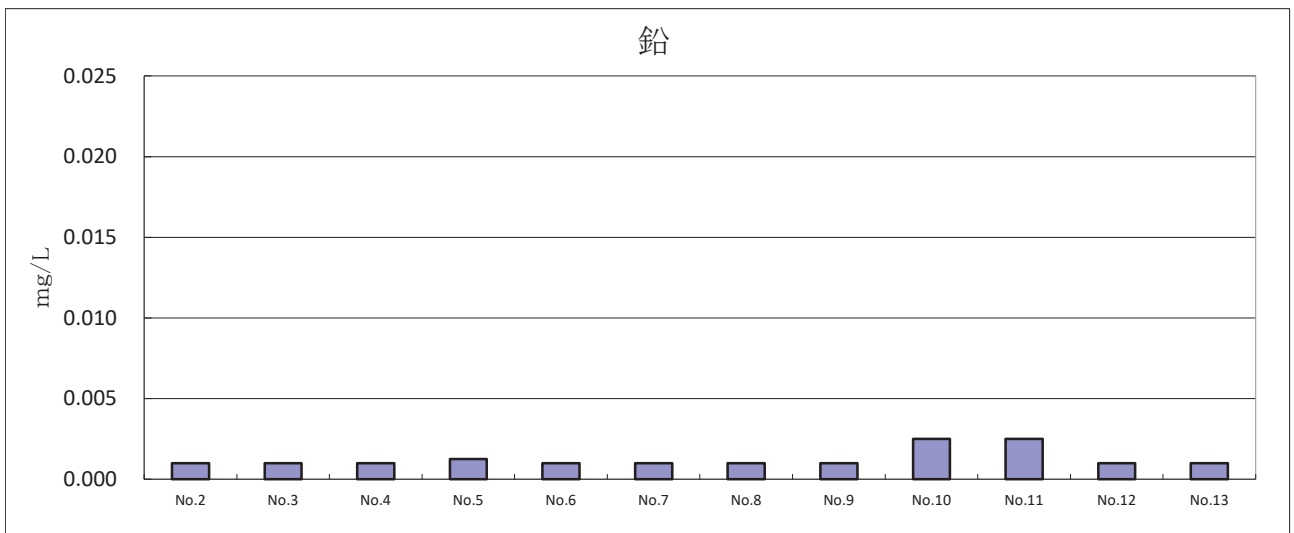
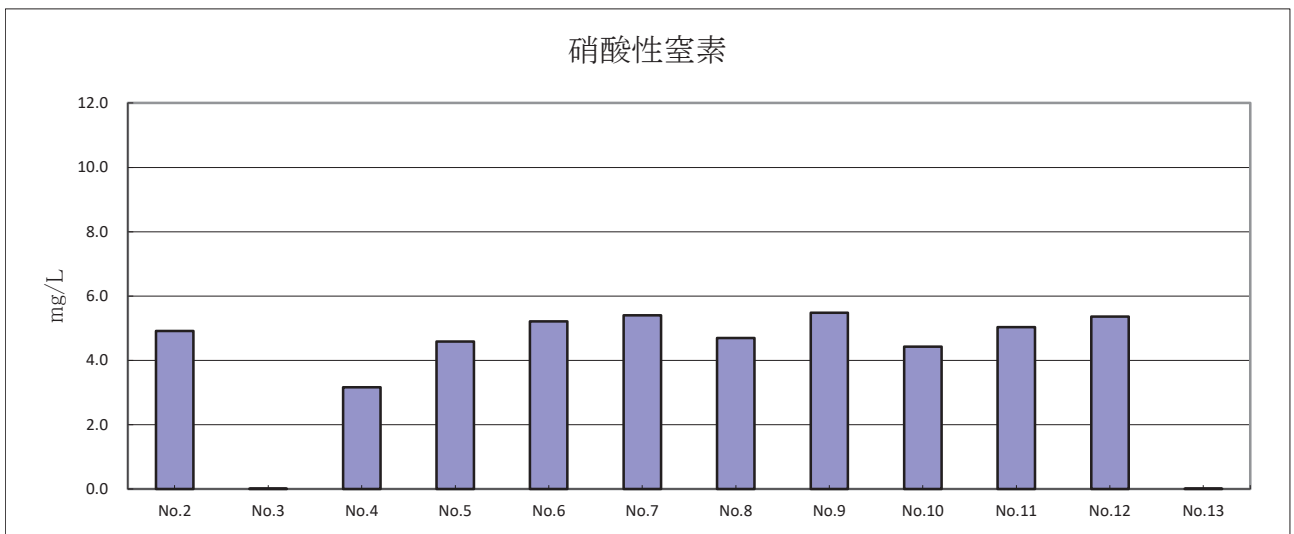
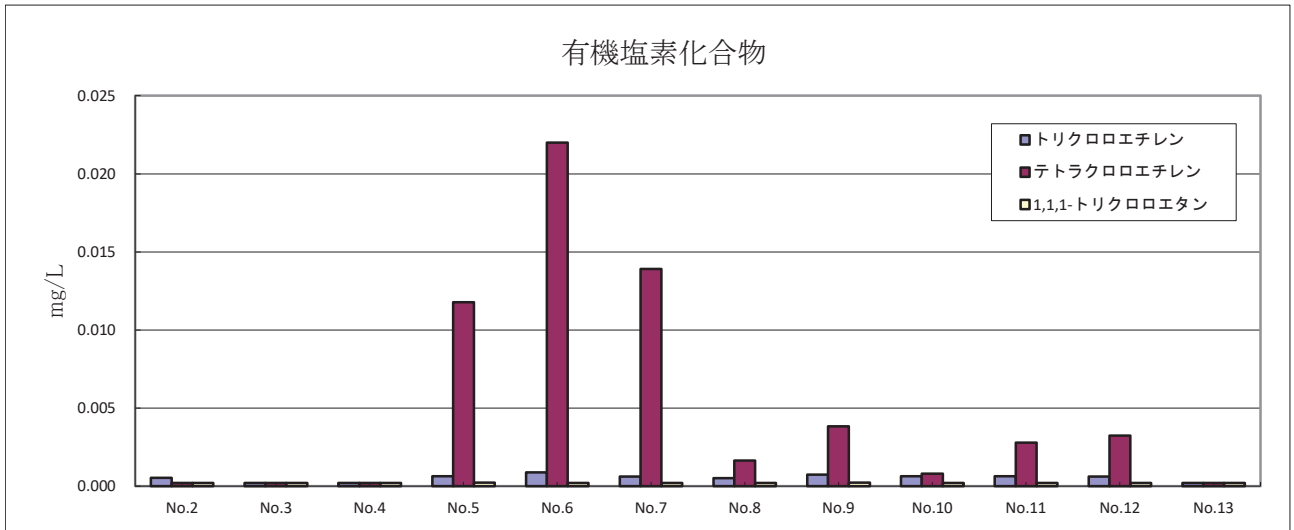


図 2-1 令和 5 年度平均値



図 2-2 過去 2 年間の調査結果との比較

平均値の算出は環境省公布「環水規 51 号 (H11.3.12)」に基づき「報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値」として取り扱った。

各分析項目は以下のような結果であった。

(1) トリクロロエチレン

No. 3, 4, 13 を除く 9 地点で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

(2) テトラクロロエチレン

No. 2, 3, 4, 13 を除く 8 地点で検出された。

検出された地点の内、No. 5 の第 1, 2, 4 回調査、No. 6 の第 1, 2, 3 回調査、No. 7 の第 1, 2, 4 回調査で基準値を超過した。

(3) 1, 1, 1-トリクロロエタン

No. 5, 9 で検出されたが、環境基準を満足していた。

(4) 硝酸性窒素

No. 13 以外の地点で検出されたが、環境基準を満足していた。

(5) 鉛

No. 5, 10, 11 で検出されたが、環境基準を満足していた。

(6) 地域の傾向

過年度に引き続き No. 5, 6, 7 のテトラクロロエチレンが高い傾向を示しており、併せて複数の調査地点でトリクロロエチレンが検出（基準値未満）されている。

また、調査対象地域の特徴として農地として利用されている・過去に農地として利用されていた土地が多いことから、肥料由来と思われる硝酸性窒素も複数の地点で検出（基準値未満）されている。

2-2. 野川調査

野川の水質調査は、小金井市域最下流部の柳橋下にて6月と11月に実施した。

(1) 生活環境項目

今年度の調査結果は、環境基準(D類型)を全て満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-5に示す。

表 2-5 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（生活環境項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R5. 6. 1	R4. 6. 2	R3. 6. 3	R5. 11. 2	R4. 11. 10	R3. 11. 4	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	-	6.0以上 8.5以下	-	7.6	7.5	6.8	7.6	7.4	7.0
	溶存酸素 (DO)	mg/L	2以上	0.5	8.5	9.1	9.4	10.0	10.3	9.9
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	8以下	0.5	2.5	1.4	<0.5	0.5	0.6	<0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	-	0.5	4.2	0.9	0.9	2.0	2.1	3.2
	浮遊物質 (SS)	mg/L	100以下	1	15	4	2	6	9	5
	大腸菌群数※	MPN/100mL	-	1.8	-	-	4900	-	-	2800
	大腸菌数※	CFU/100mL	-	-	130	140	-	200	200	-
	全窒素 (T-N)	mg/L	-	0.05	1.04	3.97	3.97	5.03	5.63	6.53
	全りん (T-P)	mg/L	-	0.003	0.045	0.019	0.035	0.023	0.025	0.012

※令和4年度より、大腸菌群数 (MPN/100ml) から大腸菌数 (CFU/100ml) に基準が変更となった。

(2) 健康項目

今年度の調査結果は、環境基準を満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-6に示す。

表 2-6 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（健康項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R5. 6. 1	R4. 6. 2	R3. 6. 3	R5. 11. 2	R4. 11. 10	R3. 11. 4	
健康項目	硝酸性窒素及び重硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	0.94	3.54	3.1	4.65	5.11	5.9

(3) その他の項目及び現場測定項目

過去2年間の調査結果と今年度の調査結果を見ると、陰イオン界面活性剤は過年度に引き続き下限値未満であり、アンモニア性窒素・リン酸性リン共に低い傾向を示した。

過去の調査結果との比較を表2-7に示す。

表2-7 過去2年間の調査結果との比較（そのほかの項目及び現場測定項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R5.6.1	R4.6.2	R3.6.3	R5.11.2	R4.11.10	R3.11.4	
その他の項目	陰イオン界面活性剤 (MBAS)	-	-	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素 (NH ₄ -N)	mg/L	-	0.01	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	0.41	0.01
	りん酸性りん (PO ₄ -P)	mg/L	-	0.003	0.008	<0.003	0.022	0.005	0.009	0.008
現場測定項目	天候	-	-	-	晴	晴	晴	晴	晴	晴
	気温	℃	-	-	22.2	23.0	22.8	17.2	14.0	15.8
	水温	℃	-	-	21.7	21.2	21.5	16.0	14.5	14.8
	外観（色相）	-	-	-	淡緑色透明	淡黄緑色	淡黄緑色	無色透明	無色透明	淡灰黄色
	臭気	-	-	-	弱：藻臭	弱：藻臭	微：川藻臭	無臭	無臭	微：川藻臭
	透視度	度	-	-	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m ³ /sec	-	-	0.006	0.055	0.006	0.085	0.161	0.258
	全水深	m	-	-	0.09	0.10	0.07	0.16	0.10	0.15

2-3. 湧水調査

(1) 水質調査結果

水質調査の結果を表 2-8 に示す。

1) 透視度

すべての調査回で 50 度以上を記録した。外観は 6 月・12 月共に無色透明であった。

2) 水温

水温は 6 月に 17.1～17.9℃、12 月に 16.7～17.4℃であり、一般的な湧水の水温であった。

3) 臭気

無臭であった。

4) 流量

基本的に 6 月調査の流量が多い傾向を示した。また、本年度は 12 月調査時の流量が特に少なかった。

5) pH

pH は 6.3～6.5 であった。

6) 電気伝導率

6 月調査が 14.5～18.7ms/m、12 月調査が 13.1～19.3ms/m であった。

7) 硝酸性窒素

全調査回で基準を満足しており、過年度の傾向とほぼ同等であった。

8) トリクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0002～0.0005mg/L の間で検出された。

9) テトラクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0002～0.0044mg/L の間で検出された。

10) 1, 1, 1-トリクロロエタン

全調査回で検出下限値未満であった。今年度の調査結果は、環境基準(D 類型)を全て満足していた。

表 2-8 湧水水質調査結果一覧表

調査地点 貴井神社

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和5年6月26日	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和5年12月7日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	
採取日	-	令和5年6月26日	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和5年12月7日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	-
採取時刻	-	11:40	8:47	8:35	9:00	8:38	13:20	-
天候	-	晴	晴/小雨	晴	晴	晴	晴	-
気温	℃	24.5	17.9	23.5	10.0	6.0	8.5	-
水温	℃	17.5	17.8	18.0	17.4	17.9	16.5	-
外観	-	無色	淡黄緑色透明	無色透明	無色	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.002	0.005	0.001	0.003	0.006	0.005	-
pH	-	6.5	6.2	6.4	6.3	6.2	6.0	-
電気伝導率	ms/m	14.5	18.1	19.0	19.3	17.8	16.7	-
硝酸性窒素	mg/L	5.19	4.67	5.00	5.43	5.19	5.90	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0006	<0.0002	0.0004	0.0004	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0025	<0.0002	0.0015	0.0015	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 滄浪泉園

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和5年6月26日	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和5年12月7日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	
採取日	-	令和5年6月26日	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和5年12月7日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	-
採取時刻	-	10:51	9:57	11:45	10:23	9:34	9:05	-
天候	-	晴	晴/小雨	晴	晴	晴	晴	-
気温	℃	24.0	15.9	23.2	11.9	6.1	4.2	-
水温	℃	17.9	17.2	17.5	16.7	17.8	16.2	-
外観	-	無色	淡黄緑色透明	無色透明	無色	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	弱藻臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.005	0.001	<0.001	0.0004	0.002	0.002	-
pH	-	6.5	6.3	6.7	6.4	6.3	6.1	-
電気伝導率	ms/m	18.7	13.8	19.8	18.5	18.1	19.5	-
硝酸性窒素	mg/L	5.74	4.56	5.40	5.28	5.74	6.00	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0005	<0.0002	0.0003	0.0004	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0044	0.0008	<0.0002	0.0005	0.0006	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 中町四丁目公共緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和5年6月26日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和5年12月7日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和5年6月26日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和5年12月7日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	10:30	10:05	10:40	11:30	10:50	10:40	-
天候	-	晴	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	25.0	25.5	19.2	15.3	7.8	7.5	-
水温	℃	17.7	18.0	17.8	17.1	17.0	16.8	-
外観	-	無色	無色透明	無色透明	無色	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.002	<0.001	0.002	0.001	0.001	<0.001	-
pH	-	6.4	6.5	6.6	6.5	6.1	6.4	-
電気伝導率	ms/m	15.6	20.5	20.1	18.1	19.0	18.9	-
硝酸性窒素	mg/L	6.82	7.50	7.62	7.07	4.90	7.80	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0006	<0.0002	<0.0002	0.0031	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 美術の森緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和5年6月26日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和5年12月7日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和5年6月26日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和5年12月7日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	9:00	10:50	9:55	12:25	12:00	10:40	-
天候	-	晴	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	25.8	23.8	20.0	17.8	8.0	8.8	-
水温	℃	17.1	18.0	17.5	17.4	16.2	16.0	-
外観	-	無色	無色透明	無色透明	無色	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.004	<0.001	0.002	0.001	0.001	<0.001	-
pH	-	6.4	6.5	6.6	6.5	6.0	6.6	-
電気伝導率	ms/m	17.7	18.8	18.2	13.1	14.9	15.8	-
硝酸性窒素	mg/L	5.16	7.30	6.60	5.28	6.00	7.30	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0021	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境省告示第10号)

(2) 底生生物

底生生物調査結果一覧表を表2-9に示す。

表2-9 底生生物調査結果一覧表

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	霞井神社		瀬田公園		中野4丁目公共緑地		善術の森緑地		東京都PR2020 北多摩	外来生物法													
						6月 検体数	6月 遺棄量	12月 検体数	12月 遺棄量	6月 検体数	6月 遺棄量	12月 検体数	12月 遺棄量															
1	渦輪綱	三輪綱目	サンカウアカマツムシ科	ナメムシ	<i>Quercia japonica</i>	30	0.073	60	0.083	34	0.121	81	0.103	118	0.261	147	0.239	36	0.084	24	0.037							
2	蜘蛛目	ハリトモムシ目	マズヒトモムシ科	マズヒトモムシ	<i>Protona</i>	9	0.003																					
3	腹足綱	船巻目	カウニ科	カウニ	<i>Semiothisa libertina</i>	94	1.868	12	0.358			1	0.001	3	0.178	3	0.262	6	0.003	6	0.003							
4	両生綱	有甲目	ヒメマダガイ科	カウマダガイ	<i>Ferrissia</i>																							
5	二枚貝綱	マルズダレガイ目	マルズダレガイ科	マルズダレガイ	<i>Pisidium</i>	30	0.021	14	0.008			19	0.003	66	0.048	378	0.205	18	0.008	119	0.077							
6	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>					1	0.003																	
7	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
8	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
9	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
10	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
11	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
12	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
13	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
14	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
15	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
16	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
17	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
18	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
19	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
20	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
21	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
22	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
23	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
24	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
25	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
26	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
27	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
28	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
29	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
30	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
31	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
32	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
33	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
34	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
35	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
36	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
37	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
38	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
39	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
40	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
41	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
42	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
43	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
44	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
45	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
46	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
47	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
48	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
49	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
50	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
51	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
52	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
53	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
54	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
55	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
56	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
57	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
58	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
59	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
60	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
61	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
62	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
63	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
64	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
65	ミズミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Hydracarina</i>																							
合計						22	35	65	種別	894	4,741	697	1,977	1,189	2,09	651	2,478	1,378	1,84	1,543	1,783	2,198	4,065	795	0.999	NT		
合計						22	35	65	種別	33	33	28	28	24	24	33	33	21	21	28	28	27	27	22	22	22	22	3

1) 種名、学名及び種の並び順等は原則として「河川水辺の環境調査のための生物リスト [令和4年度版]」に従った。

2) 遺棄量の「+」は0.000未満を示す。

3) 重要種の総称及び表中の記号は以下を示す。
 重要種: 「環境省レッドリスト (日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 昆虫類、貝類、その他無脊椎動物) (2020、環境省)」
 東京都重要種: 「東京都レッドリスト (本土部) 東京都レッドリスト (本土部、北海道) 2020年版 (2021、東京都環境局)」
 EX: 絶滅、EN: 野絶滅、CR: 絶滅危惧1種、VU: 絶滅危惧2種、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、留選: 留選種

1) 確認状況

令和5年度調査における、各地点の目別確認種類数を表2-10に示す。

6月に48種類、12月に52種類、合計9網22目35科65種類の底生生物が確認された。

目別で確認種数が多かった目は、ハエ目（6月22種類、12月21種類、合計28種類）、イトミミズ目（6月7種類、12月9種類、合計9種類）であった。

地点別の確認種数では、貫井神社（6月33種類、12月26種類、合計38種類）、滄浪泉園（6月24種類、12月33種類、合計42種類）、中町4丁目公共緑地（6月21種類、12月29種類、合計33種類）、美術の森緑地（6月27種類、12月22種類、合計30種類）であった。

6月・12月共に全地点で確認できた種は、ナミウズムシ・ミズムシ（甲）など8種類であった。

表2-10 底生生物目別確認種類数

網名	目名	貫井神社			滄浪泉園			中町4丁目公共緑地			美術の森緑地			計		
		6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計
渦虫綱	三岐腸目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
有針綱	ハリヒモムシ目	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
腹足綱	新生腹足目	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1
腹足綱	汎有肺目	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
二枚貝綱	マルスダレガイ目	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ミミズ綱	ナガミミズ目	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
ミミズ綱	オヨギミミズ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1
ミミズ綱	イトミミズ目	7	6	7	3	7	7	5	5	6	6	5	6	7	9	9
ミミズ綱	ツリミミズ目	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	3
ヒル綱	吻蛭目	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ヒル綱	吻無蛭目	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
クモ綱（蛛形綱）	ダニ目	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2
軟甲綱	ヨコエビ目	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
軟甲綱	ワラジムシ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
軟甲綱	エビ目	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1
昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1
昆虫綱	カワゲラ目（セキ翅目）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
昆虫綱	ヘビトンボ目	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
昆虫綱	トビケラ目（毛翅目）	3	4	4	1	2	2	1	1	1	1	1	1	3	4	4
昆虫綱	ハエ目（双翅目）	12	5	13	13	13	19	10	13	16	12	10	15	22	21	28
昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2
計		33	26	38	24	33	42	21	29	33	27	22	30	48	53	65

目別個体数のグラフを図2-3に、目別湿重量のグラフを図2-4に示す。

2回の調査結果の平均個体数は、貫井神社（796個体/0.25㎡）、滄浪泉園（920個体/0.25㎡）、中町四丁目公共緑地（1,461個体/0.25㎡）、美術の森緑地（1,497個体/0.25㎡）であった。

また、平均重量は貫井神社（3.359g/0.25㎡）、滄浪泉園（2.284g/0.25㎡）、中町四丁目公共緑地（1.812g/0.25㎡）、美術の森緑地（2.532g/0.25㎡）であった。

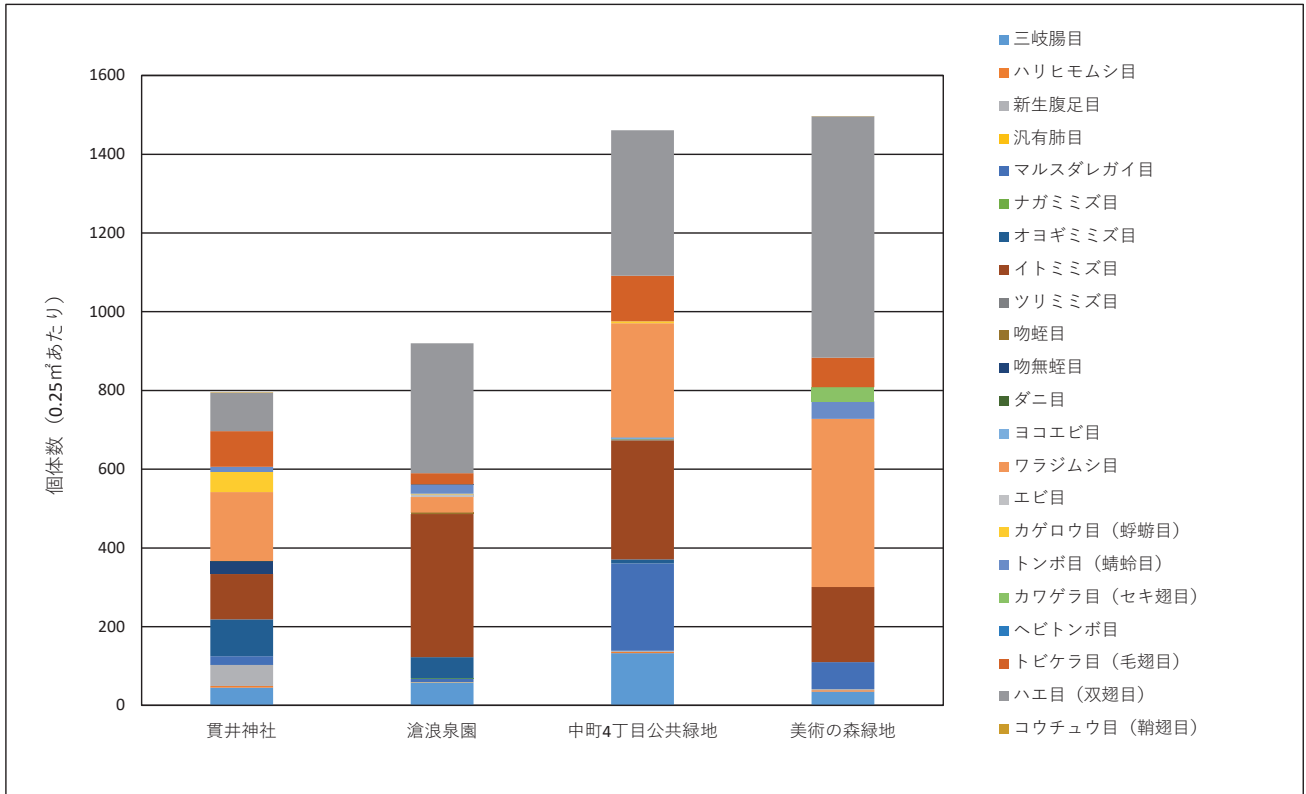


図 2-3 底生生物の目別個体数
※6月と12月の平均値

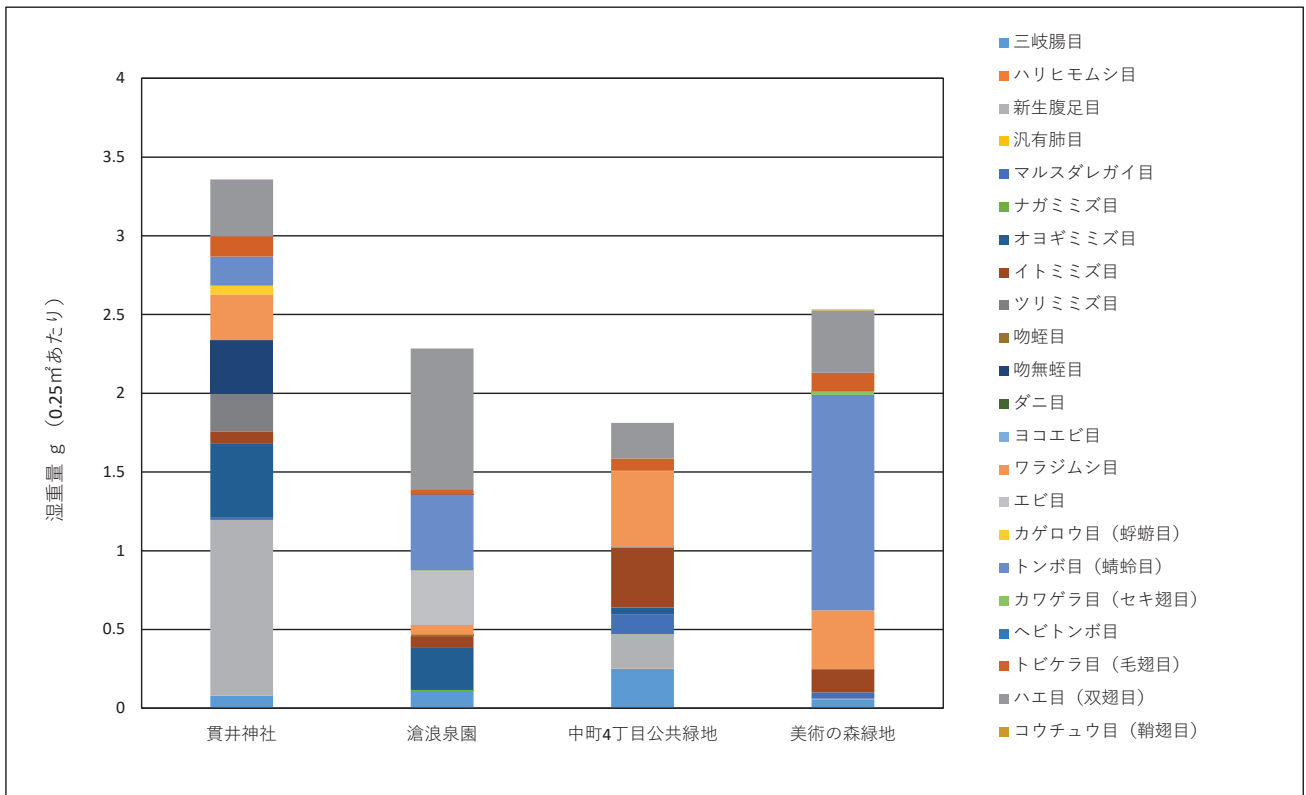


図 2-4 底生生物の目別湿重量
※6月と12月の平均値

「環境省 全国水生生物調査」の簡易水質調査法における水質階級及び指標種を表 2-11 に示す。

本調査では、水質階級Ⅰ・Ⅱに該当するカワゲラ類、ナガレトビケラ類、ブユ類、ウズムシ類、ゲンジボタルおよびカワニナの 5 種類が確認された。水質階級Ⅲの該当種はミズムシおよびヒル類と少なく、水質階級Ⅳに該当する種はアメリカザリガニのみであったことから、各調査地点は良好な水質が維持されていると考えられる。

水質は良好な状態と考えられるものの、ミズムシやミミズ類などが多く見られた。これは、全体に湧水の流量が少なく、流れも弱いところでは落葉等の有機堆積物が豊富なためと考えられる。

また、湧水性の生物として、マメシジミ類が各地点で豊富に確認された。

表 2-11 水生生物による簡易水質調査法における水質階級と指標生物

水質階級	指標生物
水質階級Ⅰ きれいな水	カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ類、ブユ類、アミカ類、ウズムシ類、サワガニ
水質階級Ⅱ ややきれいな水	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ、スジエビ、ヤマトシジミ、イシマキガイ
水質階級Ⅲ きたない水	ミズムシ、ミズカマキリ、タイコウチ、ヒル類、タニシ類、イソコツブムシ、ニホンドロソコエビ
水質階級Ⅳ とてもきたない水	セスジユスリカ、チョウバエ、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

環境省 HP (<https://www.env.go.jp/press/files/jp/568.html>) の表を一部改変

※赤字は現地調査で確認された種を示す。

調査地点別の優占種を表 2-12 に示す。

全体にミズムシ(甲)、オヨギミミズ属、ナミミズミミズおよびユスリカ類が優占している地点が多かった。この他、ナガスネユスリカ属やヒゲユスリカ属等が優占している地点も見られた。

地点別に見ると、貫井神社の優占種は 6 月、12 月ともにミズムシ(甲)、滄浪泉園の優占種は 6 月ナミミズミミズ、12 月オヨギミミズ属、中町四丁目公共緑地の優占種は 6 月ナガスネユスリカ属、12 月ミズムシ(甲)、美術の森の優占種は 6 月ミズムシ(甲)、12 月ヒゲユスリカ属であった。

表 2-12 底生生物の地点別優占種

優占階級	貫井神社		滄浪泉園		中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
優占1位	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	ナミミズミミズ	オヨギミミズ属	ナガスネユスリカ属	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	ヒゲユスリカ属
	131	220	570	102	276	465	724	144
優占2位	オヨギミミズ属	シロハラコカゲロウ	ハモンユスリカ属	ナミウズムシ	ナガレイトミミズ属	マメシジミ属	ナガスネユスリカ属	ミズムシ(甲)
	127	66	281	81	234	378	342	130
優占3位	カワニナ	オヨギミミズ属、 ナミウズムシ	ニセケバネエリユスリ カ属	ミズミミズ科	ナミウズムシ	ナミウズムシ	ボカシヌマユスリカ属	マメシジミ属
	94	60	67	69	119	147	276	119

※上段は種類、下段は個体数を示す。

各調査地点の確認状況は以下のとおりである。

・貫井神社

貫井神社では6月に33種類、12月に26種類、合計38種類が確認された。本地点ではミズムシ(甲)、オヨギミミズ属、カワニナ等が多く確認された。

本地点は比較的水量が豊富で、落葉等が取り除かれているためと考えられるが、オニヤンマ、ムナグロナガレトビケラおよびシマイシビル等の捕食相も豊かである。この他、ニンギョウトビケラおよびトウヨウグマガトビケラ等の流水環境に典型的な生物も、他の地点より多く見られた。

注目種のマメシジミ属(DD)が確認された。

・滄浪泉園

滄浪泉園では6月に24種類、12月に33種類、合計42種類が確認された。本地点では、ハモンユスリカ属、ナミミズミミズ、オヨギミミズ属が多く確認された。

本地点は確認された種類数が最も多いが、これは流路が短いため、池の流入部でも採集を行ったことも影響している。このため、ヌマビル、ミズクサユスリカ属等の止水環境に生息する生物も確認された。

注目種のマメシジミ属(DD)、タイリククロスジヘビトンボ(DD)、が確認された。

特定外来生物のアメリカザリガニが確認された。また、外来生物法の指定はないが、外来種のシナヌマエビが確認された。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では、6月に21種類、12月に29種類、合計33種類が確認された。本地点では、ミズムシ(甲)、マメシジミ属、ナガスネユスリカ属が多く確認された。

本地点は、湧水は見られるが流れが弱く、止水的環境に近いため有機堆積物が豊富で、底生生物の構成は「美術の森緑地」と共通点が多い。ダイミョウガガンボ属が見られたことから、落葉等の有機堆積物がとくに多いと推測される。

注目種のマメシジミ属(DD)が確認された。

・美術の森緑地

美術の森緑地では、6月に27種類、12月に22種類、合計30種類が確認された。本地点では、ミズムシ(甲)、ナガスネユスリカ属、ボカシヌマユスリカ属が多く確認された。

本地点は、湧水は見られるが流れが弱く、止水的環境に近いため有機堆積物が豊富で、底生生物の構成は「中町四丁目公共緑地」と共通点が多い。オニヤンマおよびオナシカワゲラ属が多いことから緩流域の環境も認められる。

注目種のマメシジミ属(DD)、ゲンジボタル(NT)が確認された。

2) 注目種

注目種の選定基準を表 2-13 に、外来種の選定基準を表 2-14 に、選定された注目種を表 2-15 に、選定された外来種を表 2-16 に示す。

令和 5 年度調査により、注目種には、東京都レッドリストの準絶滅危惧種(NT)に該当するゲンジボタルおよび情報不足(DD)に該当するマメシジミ属、タイリククロスジヘビトンボが確認された。

外来種には、外来生物法の条件付特定外来生物に該当するアメリカザリガニが確認された。

表 2-13 注目種の選定基準

選定基準	
①	「環境省レッドリスト2020」(2020、環境省)における絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩)2020年版(2021、東京都環境局)」絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表 2-14 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004. 法律78)における特定外来生物、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表 2-15 注目種一覧

No.	科名	種名	選定基準	
			①	②
1	マメシジミ科	マメシジミ属の一種	-	情報不足DD
2	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	-	情報不足DD
3	ホタル科	ゲンジボタル	-	準絶滅危惧NT
合計 3科 3種			0	3

表 2-16 外来種一覧

No.	科名	種名	選定基準
			①
1	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	条件付特定外来生物
合計 1科 1種			1

(3) 付着藻類

付着藻類調査結果一覧表を表 2-17 に示す。

表 2-17 湧水付着藻類調査結果一覧表

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	地点名 (単位: cells/25cm ²)								重要種		
						貫井神社		湯治泉園		中町4丁目緑地		美術の森緑地		環境省 RL2020	東京都RDB2020 北多摩	
						6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月			
1	紅藻綱	ネンジュモ目	ヒロウドラソウ科	ヒロウドラソウ	<i>Homooethrix janthina</i> *		33,000									
2			ユレモ科	リンゴヒヤコ草の一種	<i>Lynbya</i> sp.											
3				フォルミティウム属の一種	<i>Phormidium</i> sp.											
4		カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ属の一種	<i>Chamaesiphon</i> spp.			1,200								
5	紅藻綱	ベニマダラ目	ベニマダラ科	タンスイベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>			256,000	297,000							
6		カワモズク目	カワモズク科	カワモズク科のシヤントランシア類	<i>Chantrelaria</i> -phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp.	4,600	71,200	495,000	17,000,000	6,200	135,000	16,800	12,000	準絶滅危惧種 (NT)	準絶滅危惧種 (NT)	
7	緑藻綱	羽状目	ハクケイ目		<i>Ulvaria ulva</i> var. <i>amphihynchus</i>	93										
8			ユーノタテア科	イチョモンジケイソウ属	<i>Eunotia bilunaris</i>			63	3,010							
9				イチョモンジケイソウ属	<i>Eunotia biseriatoidea</i>	232	1,210						94			
10				イチョモンジケイソウ属	<i>Eunotia minor</i>	790	1,040	42	603							
11				イチョモンジケイソウ属	<i>Eunotia pretruxita</i>			21								
12			ナビクラ科	ニセウチルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>	139			603							
13				サミダレケイソウ属	<i>Brachyura irwanae</i>				603							
14				クナビルケイソウ属	<i>Oymbella turgidula</i> var. <i>nipponica</i>										132	
15				クサビケイソウ属	<i>Gomphonema inaequilongum</i>			42								
16				クサビケイソウ属	<i>Gomphonema parvulum</i>							4				
17				フネケイソウ属	<i>Nauclia minima</i>			126			53					
18			アクナンテス科	ツメケイソウ属	<i>Achnanthes inflata</i>	46										
19				ツメケイソウ属	<i>Achnanthes montana</i>			484	21,700	71		63	660			
20				ツメケイソウ属	<i>Achnanthes rupestris</i>			505	4,820	902		218				
21				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes acutirigens</i>		347									
22				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes exiguum</i>			947	6,630					792		
23				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes lapidum</i>			42	3,610							
24				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes minutissimum</i>	46	1,390									
25				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes subhubsonis</i>			294								
26				ツメワカケイソウ属	<i>Achnanthes suchlandtii</i>			42								
27				コシツケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i>	5,340	31,300	63	603	920	92	3,780	4,090			
28				スジカケイソウ属	<i>Nupelia nselecta</i>			884	89,200				396			
29				フタスジツメワカケイソウ属	<i>Planorhynchium frequentissimum</i>			231	1,200		52	1,400				
30				フタスジツメワカケイソウ属	<i>Planorhynchium lanceolatum</i>	4,500	4,170	63		35		719				
31				アサナガサ属	<i>Pirene oblonga</i>			547	12,000	2,010	52	312	528			
32			ニツチア科	ササノハケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>		173									
33				ササノハケイソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>				3,010							
34	緑藻綱	サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ属の一種	<i>Oedogonium</i> sp.			5,200								
合計 4綱 5目 11科 34種類						種類数合計	9	9	20	18	7	5	8	7	0	0
						総細胞数 (cells/25cm ²)	15,786	143,830	761,796	17,513,792	10,191	135,200	23,386	18,598		
						沈殿量 (ml/25cm ²)	0.6	1.2	1.5	3.0	0.3	0.3	0.5	1.0		

注1: * 印を付した値は糸状体を数えた。

1) 種名、学名及び種の並び順等は原則として「河川水辺の国際調査のための生物リスト(令和4年度版)」に従った。

2) 重要種の略称及び表中の記号は以下を示す。

環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(薪苔類、藻類、地衣類、菌類)(2020、環境省))」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧Ⅱ類、EN: 絶滅危惧Ⅲ類、VU: 絶滅危惧Ⅳ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群

東京都RL:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部)2020年版(2021、東京都)」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧Ⅱ類、EN: 絶滅危惧Ⅲ類、VU: 絶滅危惧Ⅳ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、留意: 留意種

1) 確認状況

令和5年度調査における、各地点の分類群別種類数を表2-18に、分類群別細胞数を図2-5に、優占種を表2-19に示す。

令和5年度調査により、6月に25種類、12月に26種類、合計4綱5目11科34種類の付着藻類が確認された。分類群別に見ると珪藻綱が27種類と最も多く、その他の藍藻綱、紅藻綱および緑藻綱は1~4種類であった。

調査地点別の種類数は、貫井神社(6月9種類、12月9種類、合計12種類)、滄浪泉園(6月20種類、12月18種類、合計25種類)、中町四丁目公共緑地(6月7種類、12月5種類、合計9種類)、美術の森緑地(6月8種類、12月7種類、合計11種類)であった。

藍藻綱のピロウドラソウは貫井神社でのみ、ピロウドラソウ以外の藍藻綱と緑藻綱のサヤミドロ属の一種は滄浪泉園でのみ確認された。

珪藻類の多くは弱汚濁耐性種で占められており、調査地点の水質は良好な状態が保たれているものと考えられた。

表2-18 付着藻類の調査地点別確認種類数

綱名	貫井神社			滄浪泉園			中町四丁目公共緑地			美術の森緑地			計		
	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計
藍藻綱	0	1	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	1	4	4
紅藻綱	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2
珪藻綱	8	7	10	16	13	19	6	4	8	7	6	10	21	20	27
緑藻綱	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	9	9	12	20	18	25	7	5	9	8	7	11	25	26	34

各地点の6月と12月の平均細胞数は、貫井神社約8.0万/25c m²、滄浪泉園約914万/25c m²、中町四丁目公共緑地約7.3万/25c m²、美術の森緑地約2.1万/25c m²で、全地点で紅藻綱が最も多かった。

昨年と同様に、全体にカワモズク科のシャントランシア期の細胞数が多かった。特に、滄浪泉園では本種の細胞数が突出して多く確認された。

カワモズクは湧水地の水路などを好むとされており、調査地点の環境が本種の生育に適しているものと考えられる。

なお、カワモズク科のシャントランシア期は、主にカワモズク類の生活史の一時期に見られる体のつくりを指すもので、形態的に種を分ける特徴が乏しいが、比較的よく見られるため便宜的に呼称されている。糸状の胞子体で無性生殖を行い、石等に付着して生育している。

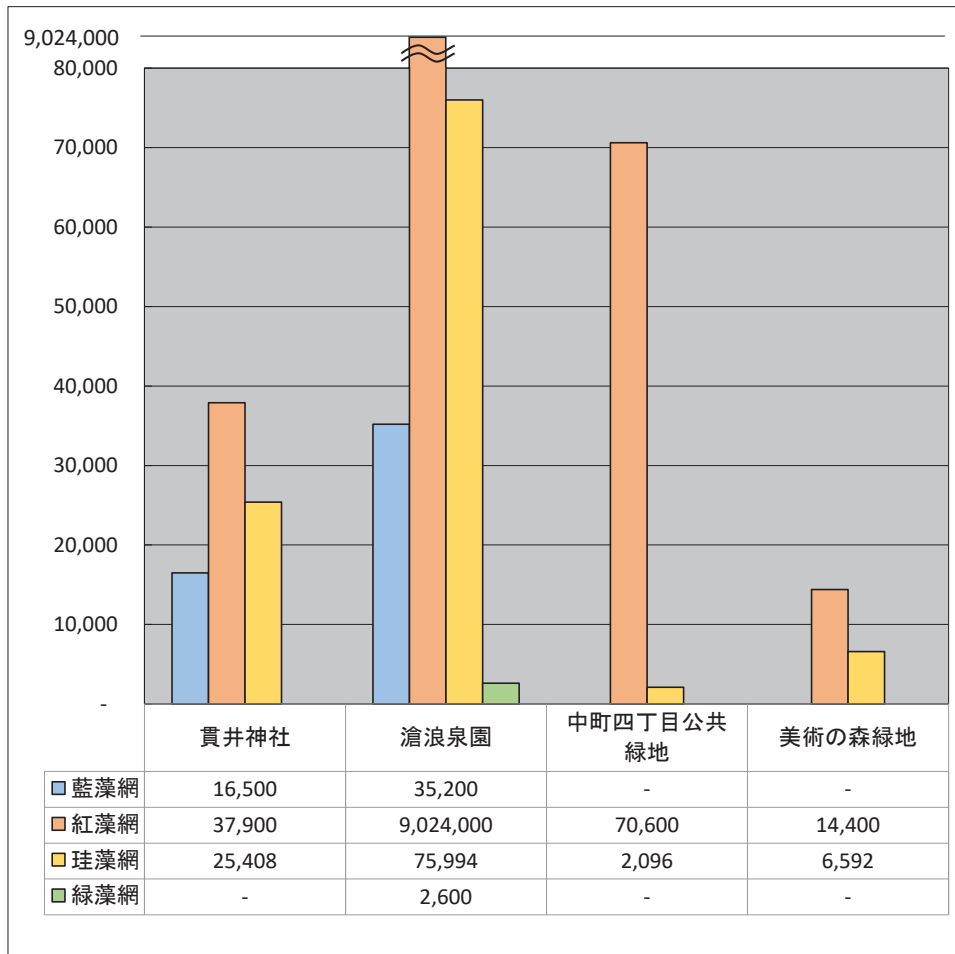


図 2-5 付着藻類の分類群別細胞数（※6 月と 12 月の平均値 25 cm²あたり）

調査地点別の優占種を表 2-19、表 2-20 に示す。

全体に紅藻綱カワモズク科のシャントランシア期が優占している地点が多かった。この他、紅藻綱タンスイベニマダラ、珪藻綱コメツブケイソウ属、フタスジツメワカレケイソウ属、藍藻綱のピロウドランソウ等が優占 2 位、3 位で見られた。

貫井神社の優占種は 6 月コメツブケイソウ属、12 月カワモズク科のシャントランシア期、滄浪泉園の優占種は 6 月、12 月ともにカワモズク科のシャントランシア期、中町四丁目公共緑地の優占種は 6 月、12 月ともにカワモズク科のシャントランシア期、美術の森緑地の優占種は 6 月、12 月ともにカワモズク科のシャントランシア期であった。

表 2-19 付着藻類の地点別優占種(1)

優占階級	貫井神社		滄浪泉園	
	6月	12月	6月	12月
優占 1位	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>
	5,340	71,200	495,000	17,000,000
優占 2位	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	藍藻綱 ヒロドリソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Hildenbrandia rivularis</i>	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Hildenbrandia rivularis</i>
	4,600	33,000	256,000	297,000
優占 3位	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Planothidium lanceolatum</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	緑藻綱 サヤミドロ属の一種 <i>Oedogonium sp.</i>	珪藻綱 スジカクレケイソウ属 <i>Nupela neglecta</i>
	4,500	31,300	5,200	89,200

※上段は種類名、下段は細胞数/25cm²を示す。

表 2-20 付着藻類の地点別優占種(2)

優占階級	中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月
優占 1位	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 <i>chantransia-phase of</i> <i>Batrachospermaceae gen. sp.</i>
	6,200	135,000	16,800	12,000
優占 2位	珪藻綱 プラテッサ属 <i>Platessa oblongella</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>
	2,010	92	3,780	4,090
優占 3位	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	珪藻綱 プラテッサ属 <i>Platessa oblongella</i>	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Planothidium frequentissimum</i>	珪藻綱 ツメワカレケイソウ属 <i>Achnanthydium exiguum</i>
	920	52	1,400	792

※上段は種類名、下段は細胞数/25 cm²を示す。

各調査地点の確認状況は以下の通りである。

・貫井神社

貫井神社では6月に9種類、12月に9種類、合計12種類が確認された。

優占種はカワモズク科のシャントランシア期、藍藻綱のピロウドラソウ、珪藻綱のコメツブケイソウ属、フタスジツメワカレケイソウ属等が多く確認された。

・滄浪泉園

滄浪泉園では、6月に20種類、12月に18種類、合計25種類が確認された。

優占種は紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、細胞数が突出して多かった。次いで注目種の紅藻綱のタンスイベニマダラ、珪藻綱のスジカクレケイソウ属等が多く確認された。

その他に、緑藻綱のサヤミドロ属の一種、藍藻綱のコンボウランソウ属等3種類は、本地点でのみ確認された。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では、6月に7種類、12月に5種類、合計9種類が確認された。

優占種は紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、次いで珪藻綱のプラテッサ属、コメツブケイソウ属等が多く確認された。

12月は優占種の紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期は多かったが、その他の珪藻類は細胞数がいずれも100個未満と非常に少なかった。

・美術の森緑地

美術の森緑地では、6月に8種類、12月に7種類、合計11種類が確認された。

優占種は紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、次いで珪藻綱のコメツブケイソウ属、フタスジツメワカレケイソウ属等が多く確認された。

他の地点では、紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期は12月に顕著に増加していたが、本地点では6月と12月で細胞数に大きな変化は見られなかった。

1) 注目種・外来種

注目種の選定基準を表 2-21 に、外来種の選定基準を表 2-22 に、選定された注目種を表 2-23 に示す。

令和 5 年度調査により、環境省レッドリストおよび東京都レッドリストの準絶滅危惧種 (NT) に該当するタンスイベニマダラが確認された。

外来種に該当する種は確認されなかった。

表 2-21 注目種の選定基準

選定基準	
①	「環境省レッドリスト2020」(2020、環境省)における絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩) 2020年版(2021、東京都環境局)」絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表 2-22 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004.法律78)における、特定外来、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表 2-23 注目種一覧

No.	綱名	種名	選定基準	
			①	②
1	紅藻綱	タンスイベニマダラ	準絶滅危惧NT	準絶滅危惧NT
合計 1綱 1種			1	1

資料編

調査地点位置図

井戸水調査	資-1
野川調査	資-2
湧水調査	資-3

調査状況写真

野川調査	資-4
湧水調査	資-6

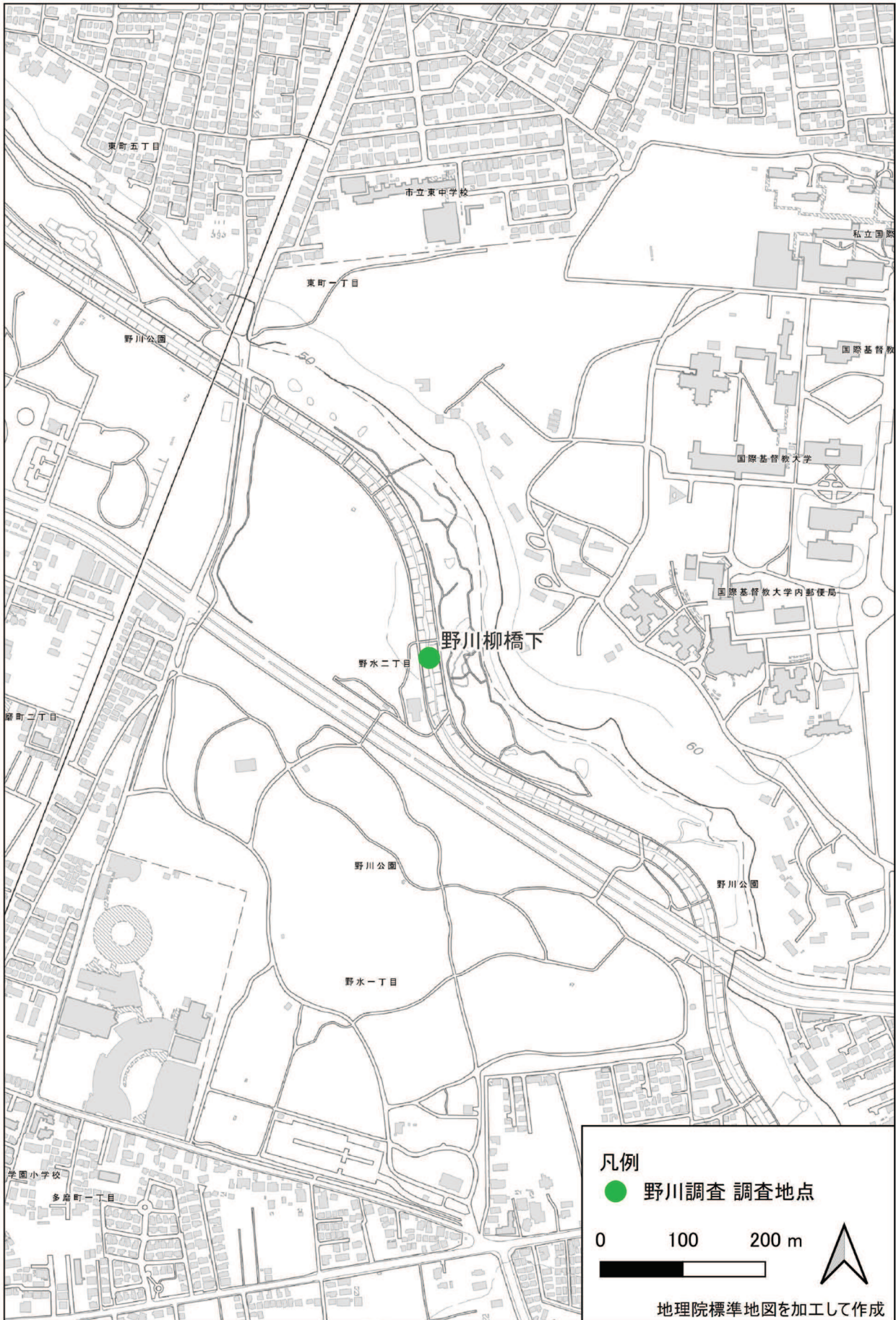
※井戸水調査は主に個人宅で行っているため、調査状況写真は掲載しない。

注目種写真

確認された注目種	資-22
----------------	------



資-1



資-2



資-3



第1回 野川調査
令和5年6月1日
調査地点状況



第1回 野川調査
令和5年6月1日
採水作業



第1回 野川調査
令和5年6月1日
流量調査



第1回 野川調査
令和5年6月1日
水質調査分析試料



第2回 野川調査
令和5年11月2日
調査地点状況



第2回野川調査
令和5年11月2日
採水作業



第2回野川調査
令和5年11月2日
流量調査



第2回野川調査
令和5年11月2日
水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 遠景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 近景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 流量調査



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 付着藻類採取



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 水質調査分析試料



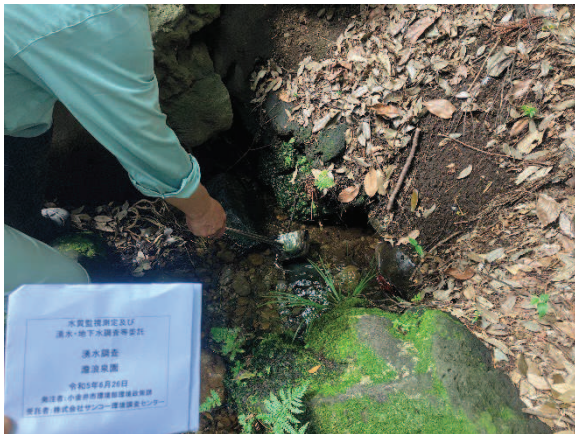
第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 貫井神社
 底生生物・付着藻類分析試料



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 滄浪泉園
 遠景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 滄浪泉園
 近景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 滄浪泉園
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 滄浪泉園
 流量調査



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
滄浪泉園
底生生物採取



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
滄浪泉園
付着藻類採取



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
滄浪泉園
水質調査分析試料



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
滄浪泉園
底生生物・付着藻類分析試料



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
中町四丁目公共緑地
遠景



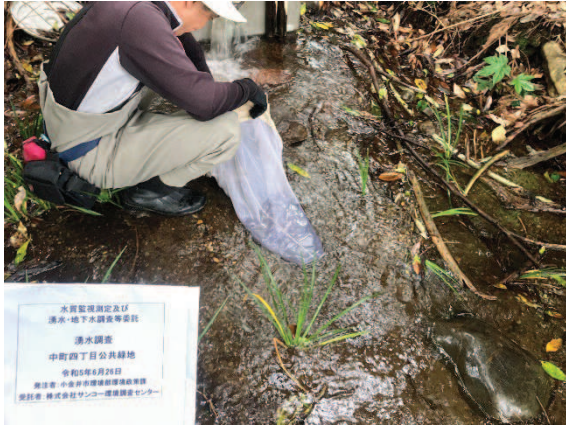
第1回 湧水調査
令和5年6月26日
中町四丁目公共緑地
近景



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
中町四丁目公共緑地
採水作業



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
中町四丁目公共緑地
流量調査



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 中町四丁目公共緑地
 付着藻類採取



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 中町四丁目公共緑地
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物・付着藻類分析試料



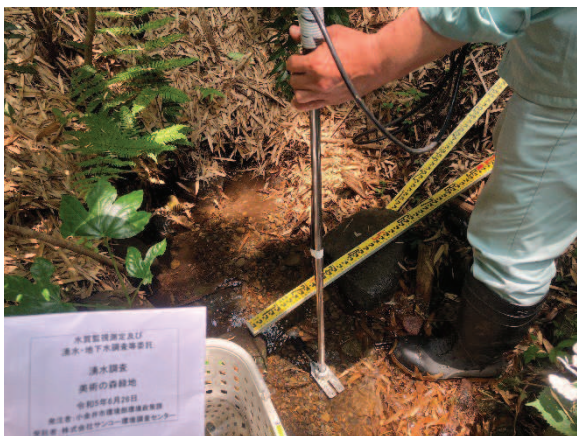
第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 美術の森
 遠景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 美術の森
 近景



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 美術の森
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和5年6月26日
 美術の森
 流量調査



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
美術の森
底生生物採取



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
美術の森
付着藻類採取



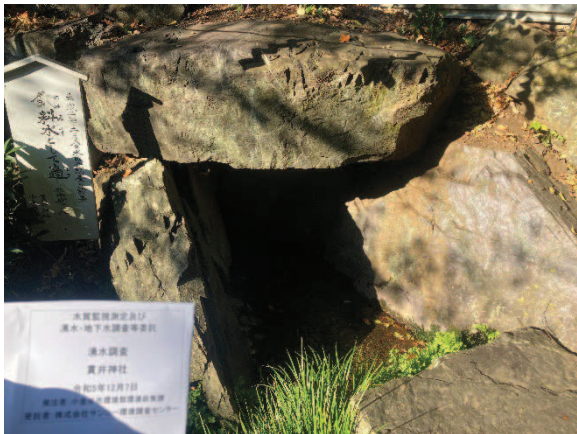
第1回 湧水調査
令和5年6月26日
美術の森
水質調査分析試料



第1回 湧水調査
令和5年6月26日
美術の森
底生生物・付着藻類分析試料



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
貫井神社
遠景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
貫井神社
近景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
貫井神社
採水作業



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
貫井神社
流量調査



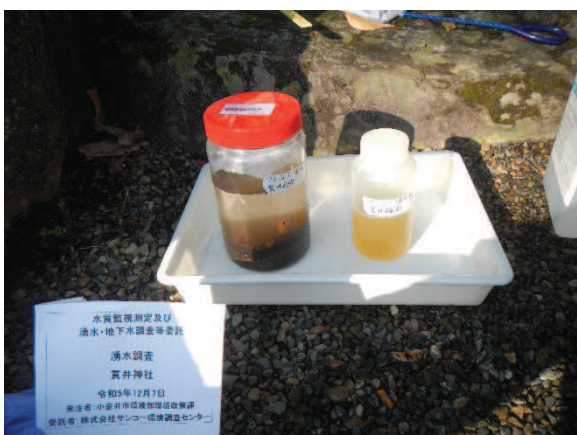
第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 貫井神社
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 貫井神社
 付着藻類採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 貫井神社
 水質調査分析試料



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 貫井神社
 底生生物・付着藻類分析試料



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
滄浪泉園
遠景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
滄浪泉園
近景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
滄浪泉園
採水作業



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
滄浪泉園
流量調査



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 滄浪泉園
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 滄浪泉園
 付着藻類採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 滄浪泉園
 水質調査分析試料



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 滄浪泉園
 底生生物・付着藻類分析試料



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
中町四丁目公共緑地
遠景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
中町四丁目公共緑地
近景



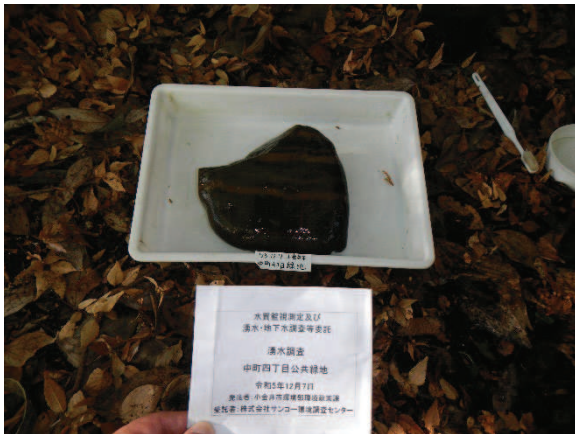
第2回 湧水調査
令和5年12月7日
中町四丁目公共緑地
採水作業



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
中町四丁目公共緑地
流量調査



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 中町四丁目公共緑地
 付着藻類採取



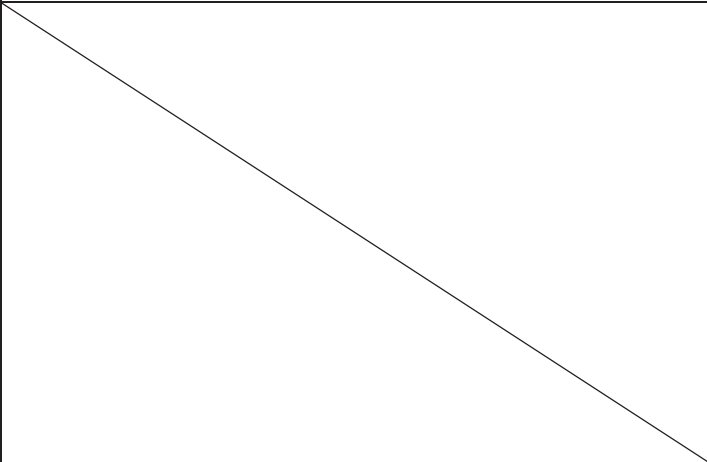
第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 中町四丁目公共緑地
 水質調査分析試料



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物・付着藻類分析試料



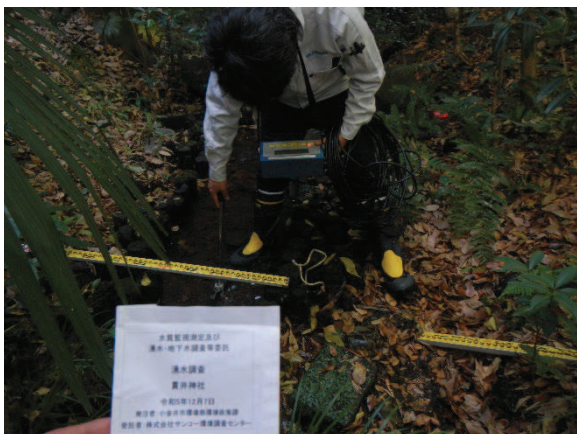
第2回 湧水調査
令和5年12月7日
美術の森
遠景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
美術の森
近景



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
美術の森
採水作業



第2回 湧水調査
令和5年12月7日
美術の森
流量調査



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 美術の森
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 美術の森
 付着藻類採取



第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 美術の森
 水質調査分析試料

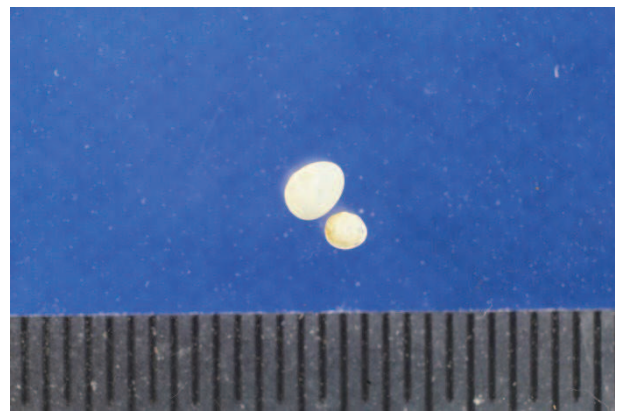


第2回 湧水調査
 令和5年12月7日
 美術の森
 底生生物・付着藻類分析試料

確認された注目種



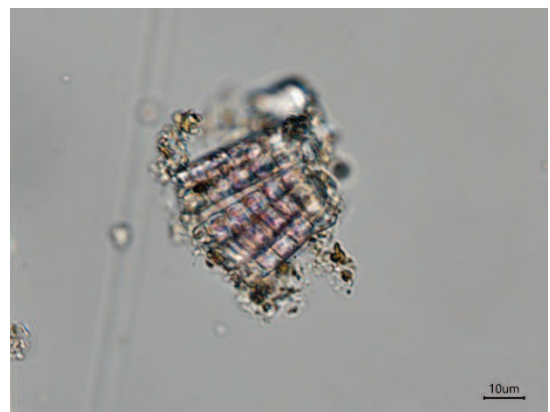
ゲンジボタル



マメシジミ属の一種



タイリククロスジヘビトンボ



タンスイベニマダラ

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託
地下水位測定

報 告 書

令和 5 年度版
小 金 井 市

目次

1. 業務概要	1
1.1. 業務件名	1
1.2. 契約番号	1
1.3. 業務目的	1
1.4. 調査場所	1
2. 調査内容	2
2.1. 水位測定方法	2
2.2. 調査位置図	3
3. 調査結果	4
3.1. 調査日	4
3.2. 地下水位測定結果	4
3.3. 地下水位変動係数	7
4. 過年度調査結果	10

1. 業務概要

1.1. 業務件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定

1.2. 契約番号

5第 995-0号

1.3. 業務目的

個人宅、公園及び学校などの公共施設内の井戸について、地下水位の状況を把握する事を目的とした。

1.4. 調査場所

小金井市内井戸9か所。

No.1、No.2 及び No.10 は別途実施の水質調査地点も兼ねている。

表 1-1 調査場所

No.	測定地点	住所	井戸水調査No.
1	個人宅	東町1	9
2	個人宅	緑町1	11
4	はけの森緑地2	中町4-12	-
5	前原やなぎ公園	前原町1-12	-
6	緑中央通り	本町1-14	-
7	特別支援学校	桜町2-1	-
9	個人宅	貫井北町3	-
10	個人宅	貫井北町5	12
11	かきの木公園	貫井南町2-3	-

2. 調査内容

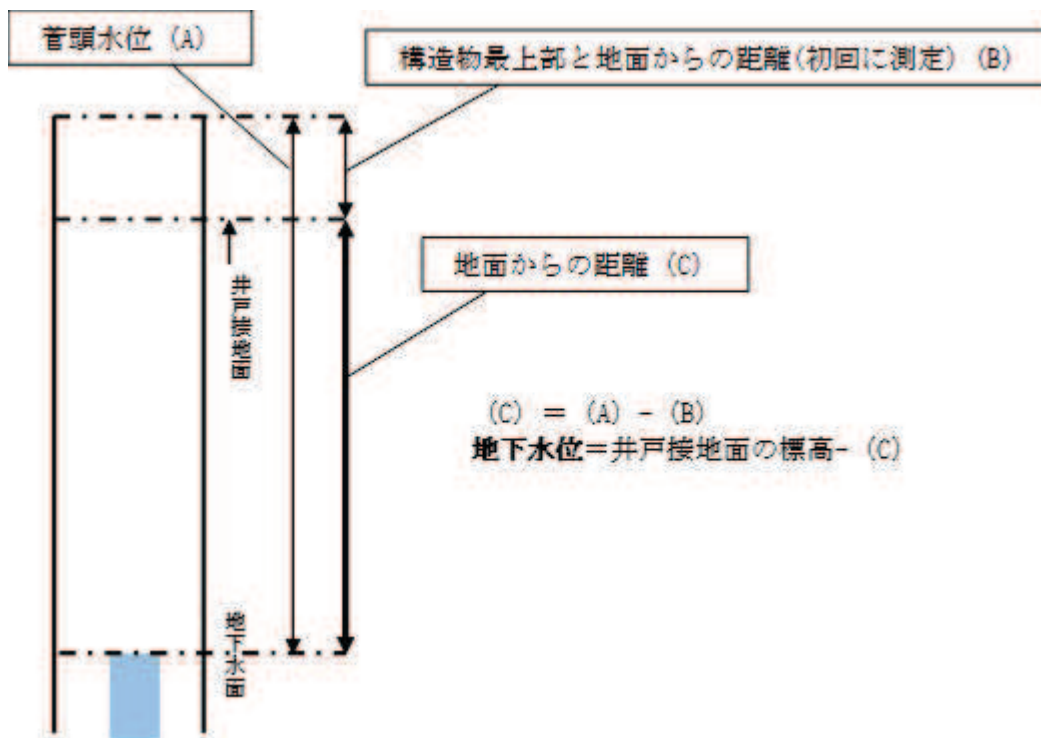
2.1. 水位測定方法

管頭水位：現場で測定する、井戸構造物最上部(管頭) から水面までの距離(m)…(A)

井戸接地面の標高：国土地理院Webサイトを参照。海水面 (T.P.) からの高さ (m)

地面からの距離：計算式(C)

地下水位：本報告書に掲載する値 (m)



標高参照元：国土地理院 GSI Maps

<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697979/139.512291/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>

2.2. 調査位置図

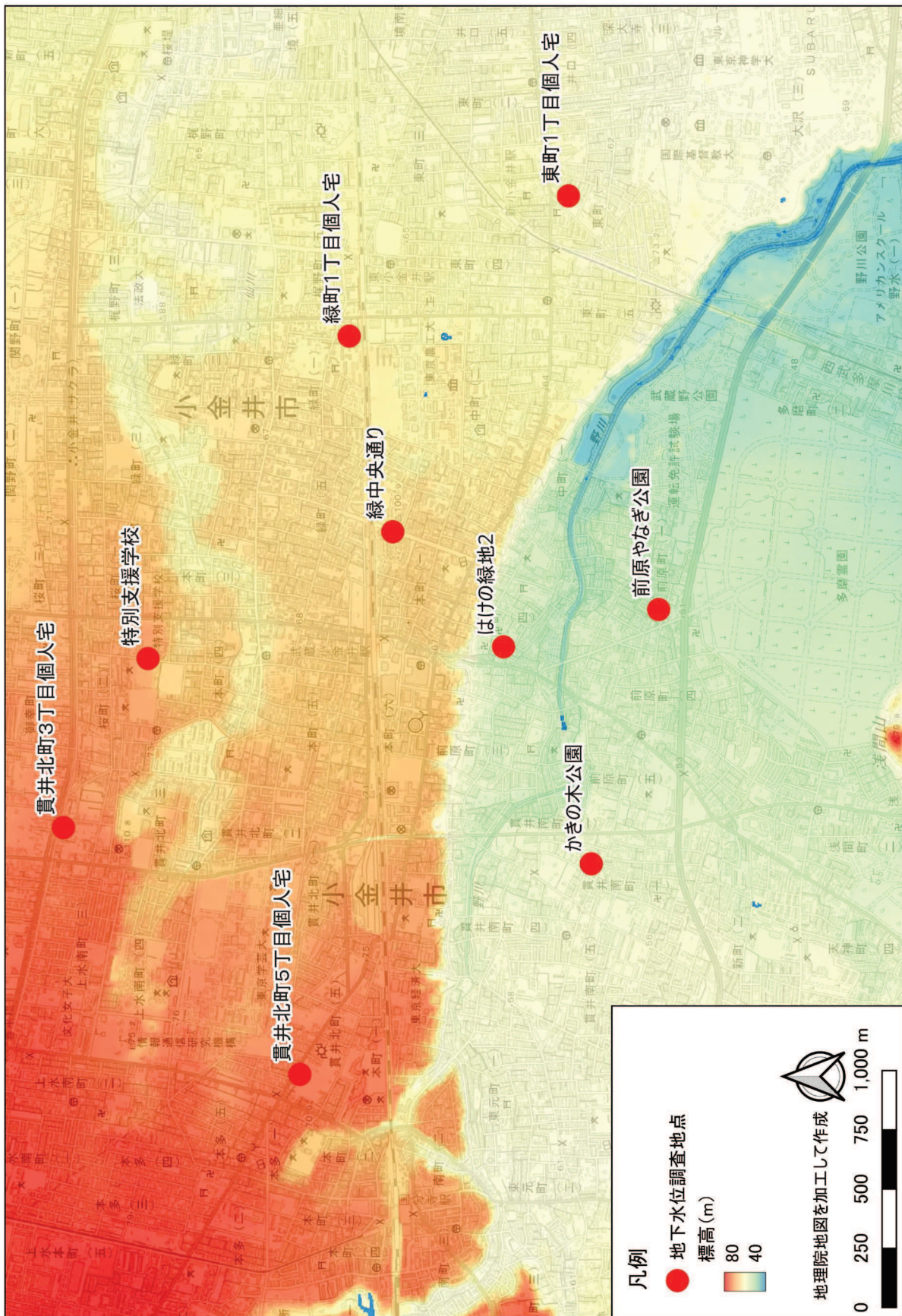


図 2-1 調査位置図

3. 調査結果

3.1. 調査日

令和5年度の調査日及び主な気象イベントを以下に示す。

2023年4月25日	気象イベント	
2023年5月29日		
2023年6月26日	梅雨入り	6月8日ごろ
2023年7月26日	梅雨明け	7月22日ごろ
2023年8月29日		
2023年9月27日	台風7号	8月14日前後
2023年10月20日	台風13号	9月8日前後
2023年11月28日	(気象庁発表の関東地方および甲信地方に接近した台風を対象とした)	
2023年12月26日		
2024年1月26日		
2024年2月28日		
2024年3月22日		

3.2. 地下水位測定結果

令和5年度の地下水位測定結果を表3-1及び図3-1に示す。

地下水位と降水量については、過年度と同様に同調する傾向が見られた。

表 3-1 令和 5 年度 各地点の地下水位 (T.P.)、月間降水量

測定点 (地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高 (m)	
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	49.30	49.39	50.75	50.19	50.05	50.38	50.45	50.02	49.73	49.43	49.21	49.33	75.3	
	9 個人宅 貫井北町3	50.36	50.94	52.56	52.00	52.01	52.43	52.42	51.94	51.59	51.15	50.79	50.92	74.5	
	7 特別支援学校	44.45	44.44	46.80	46.15	45.78	46.20	45.98	45.41	44.84	44.20	43.87	44.19	71.7	
	6 緑中央通り	43.47	43.47	45.04	44.45	42.86	44.44	44.41	42.54	43.67	41.83	42.95	43.17	67.0	
	2 個人宅 緑町1	53.90	54.16	55.65	54.68	54.68	55.35	55.27	54.64	54.27	53.89	53.70	54.03	65.3	
	1 個人宅 東町1	58.16	58.22	58.96	59.60	59.50	59.55	59.55	59.12	58.52	58.10	58.15	58.21	62.5	
	11 かきの木公園	59.01	59.02	60.45	61.23	60.93	60.86	60.89	60.33	59.41	60.01	58.96	59.51	54.9	
	はげ下	4 はげの森緑地2	61.15	61.39	63.70	64.10	63.74	63.55	63.65	63.33	62.68	61.84	61.18	61.20	51.2
		5 前原やなぎ公園	46.00	46.09	48.01	47.44	48.24	46.15	47.06	48.04	46.12	47.19	45.73	45.96	50.9
	月間降水量 (mm)		57.0	123.5	342.0	18.5	150.0	225.0	107.0	62.5	14.5	39.0	70.0	38.0	

表中、
■ は最高水位及び、最多降水量
■ は最低水位及び、最小降水量
 降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照し、月間降水量を記載 (3月のみ地下水水位測定日までの月間雨量)
 台風 7号 8月14日前後
 台風13号 9月 8日前後
 (気象庁発表の関東地方および甲信地方に接近した台風を対象とした)

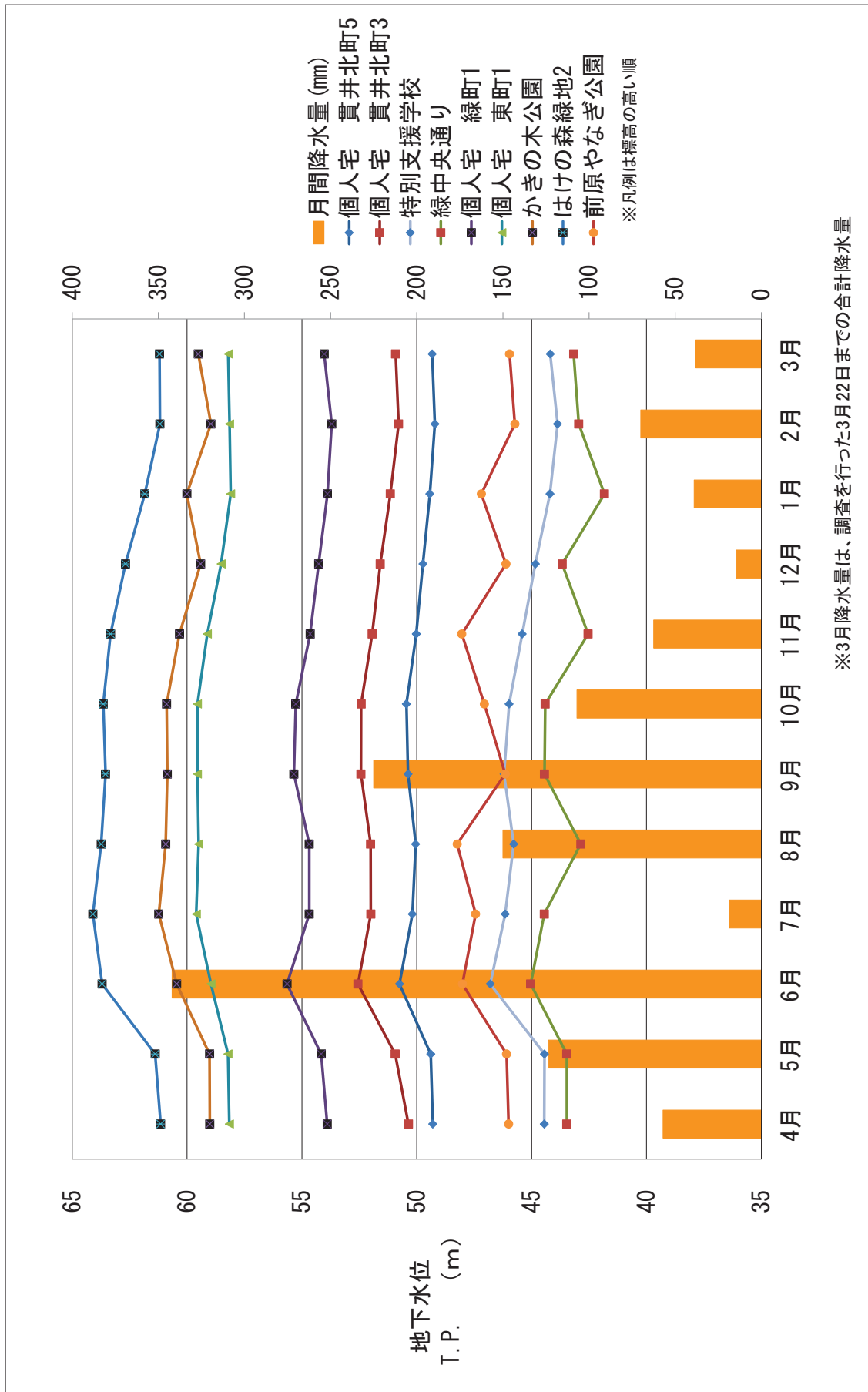


図 3-1 令和5年度地下水水位の変動

3.3. 地下水位変動係数

令和5年度の変動係数を表3-2に示す。

表3-2より、年間を通じて最も変動幅が大きかったのは、「緑中央通り」であった。逆に最も変動幅が小さかった地点は「個人宅 東町1」であり、変動幅の最大・最小を示した地点は双方「はげ上調査地点」であった。

「標準偏差÷平均値」である変動係数は、基準となる平均水位が各地点で異なるため、より正確に水位変動を比較するために導入した。

変動係数が大きい＝水位変動が大きいといえる。また、4月から10月までの降水量が比較的多い期間を降雨期、降水量の少ない11月から3月までを渇水期として季節による変動係数の比較を行った。

令和5年度は、年間を通しての水位の変動係数は標高が高い地点が高い値を示し、標高の低い地点が低い値を示す傾向であった。

また、図3-2及び3-3より、降雨期に変動係数が大きい地点は、渇水期においても変動係数が大きくなる傾向が見られ、この傾向は過年度と同様であった。

備考：相関係数と変動係数について

相関係数 r ：以下の式であらわされる、2変数（ X ：降雨期変動係数、 Y ：渇水期変動係数）の間に、どの程度相関関係があるかを示す数値。一般に0.7以上で強い相関関係にあるとされる。

$$r = \frac{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2} \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (Y_i - \bar{Y})^2}}$$

X_i ：地点毎の降雨期変動係数

\bar{X} ：全地点での降雨期変動係数の平均

Y_i ：地点毎の渇水期変動係数

\bar{Y} ：全地点での渇水期変動係数の平均

N ：サンプル数、($N=9$)

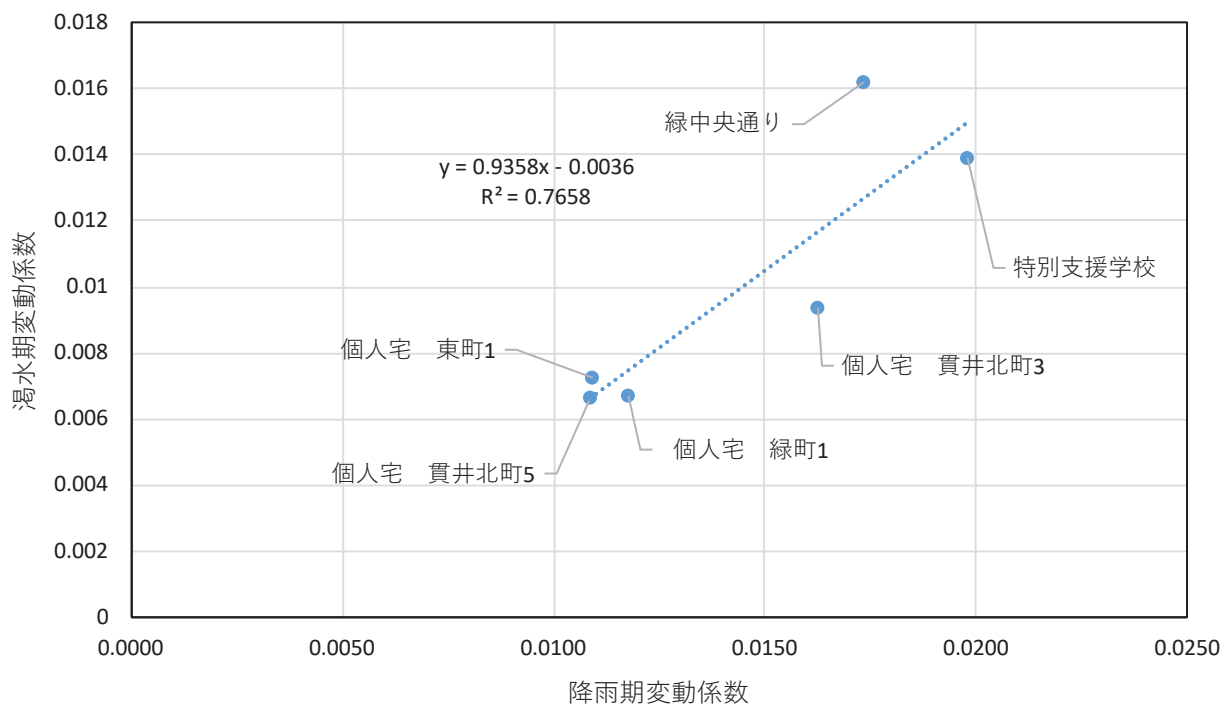
R2 値：相関図中の R2 の値は、相関係数 r の2乗値である。点線で示す回帰直線からのばらつきの程度を表し、1に近づくほどばらつきが小さいといえる。この値が1より小さいとき、回帰直線から外れるものがあるといえる。

たとえば回帰直線の上に外れた場合、水位が上昇しにくい割には低下しやすい傾向がある、などといえる。

表 3-2 令和 5 年度 地下水水位の変動係数

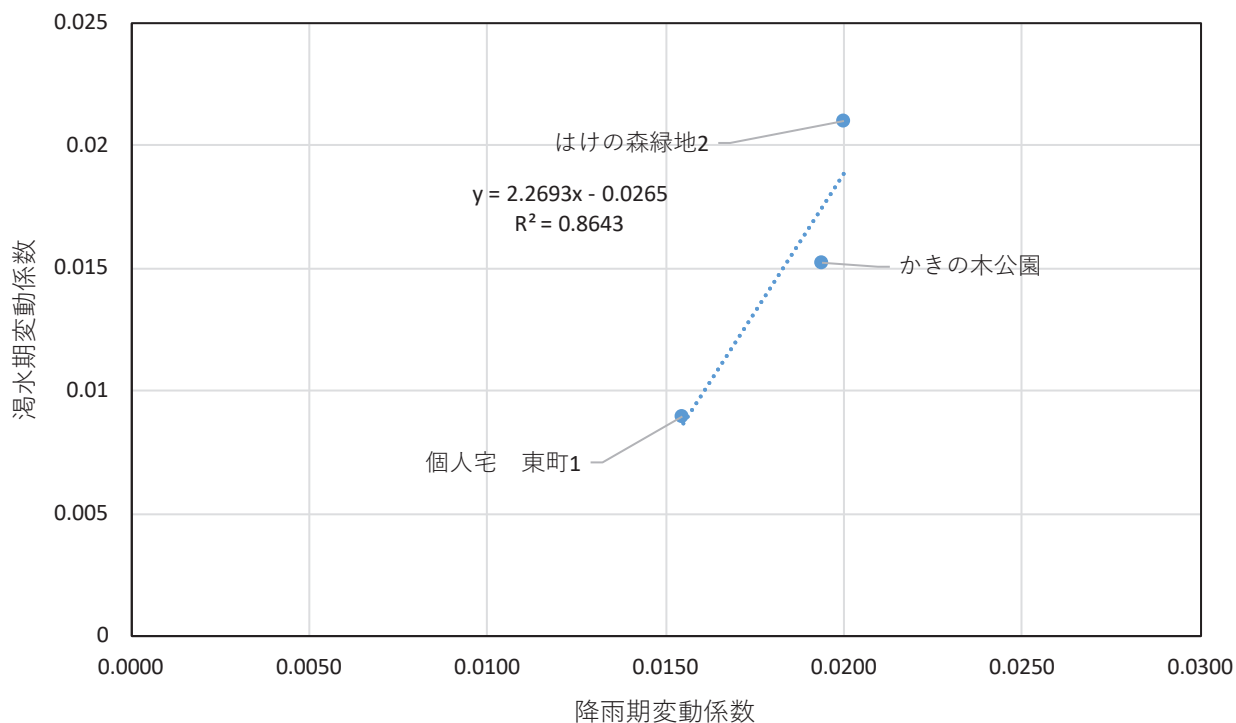
測定点 (地面の標高の高い順)	水位平均 (m)	最高水位 (m)	最低水位 (m)	年間変動幅 (m)	年間の標準偏差 (m)	年間の変動係数	
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	49.85	50.75	49.21	1.54	0.52	0.01
	9 個人宅 貫井北町3	51.59	52.56	50.36	2.20	0.74	0.01
	7 特別支援学校	45.19	46.80	43.87	2.93	0.98	0.02
	6 緑中央通り	43.53	45.04	41.83	3.21	0.93	0.02
	2 個人宅 緑町1	54.52	55.65	53.70	1.95	0.64	0.01
	1 個人宅 東町1	58.80	59.60	58.10	1.50	0.64	0.01
はげ下	11 かきの木公園	60.05	61.23	58.96	2.27	0.84	0.01
	4 はげの森緑地2	62.63	64.10	61.15	2.95	1.18	0.02
	5 前原やなぎ公園	46.84	48.24	45.73	2.51	0.93	0.02
	変動係数平均 4~10月			0.0145			
	変動係数平均 11~3月			0.0100			
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	0.0109	0.0163	0.0066	0.5436	0.3285	
	9 個人宅 貫井北町3	0.0198	0.0174	0.0093	0.8420	0.4791	
	7 特別支援学校	0.0118	0.0109	0.0139	0.9033	0.6178	
	6 緑中央通り	0.0109	0.0155	0.0162	0.7642	0.6928	
	2 個人宅 緑町1	0.0155	0.0194	0.0067	0.6446	0.3638	
	1 個人宅 東町1	0.0194	0.0200	0.0073	0.6441	0.4241	
はげ下	11 かきの木公園	0.0183	0.0150	0.0090	0.9342	0.5351	
	4 はげの森緑地2	0.0200	0.0152	0.0152	1.2231	0.9432	
	5 前原やなぎ公園	0.0210	0.0210	0.0210	0.9403	0.9770	
降水量変動係数	0.74						
平均降水量 (mm)	146.14						
			2.03				
			44.80				

表中、■は最大値、■は最低値



相関係数 $r = 0.875$

図 3-2 令和 5 年度 降雨期、湯水期の変動係数相関図 (はげ上)



相関係数 $r = 0.930$

図 3-3 令和 5 年度 降雨期、湯水期の変動係数相関図 (はげ下)

4. 過年度調査結果

以降に令和4年度及び令和3年度調査結果を示す。

表 4-1 令和4年度 各地点の地下水位 (T.P.)、月間降水量

測定点(地面の標高の高い順)	水位単位(m)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)	
10	61.3	62.64	63.53	63.86	63.79	64.04	64.34	64.03	63.45	62.59	61.62	-	75.3	
9	-	-	60.26	60.87	61.03	61.32	61.91	61.46	60.68	59.43	-	-	74.5	
8-2	39.95	38.57	-	-	-	40.44	-	41.19	41.66	42.00	40.38	40.16	72.4	
7	58.38	58.26	58.91	59.44	59.60	59.87	60.18	59.87	59.39	58.55	58.09	58.13	71.7	
8-1	58.37	58.28	58.82	-	-	-	工事に伴い、令和4年度調査は4月から6月の間のみ						-	70.0
6	55.00	54.59	54.68	55.04	55.16	56.10	55.77	54.92	54.71	54.27	53.86	53.71	67.0	
2	51.59	51.68	51.85	52.09	52.29	52.89	52.88	52.33	52.11	51.70	51.19	50.85	65.3	
3	-	50.47	50.53	50.73	50.90	51.54	51.38	50.88	50.68	50.30	-	-	63.7	
1	49.92	49.99	50.03	50.15	50.30	50.87	50.93	50.37	50.16	49.83	49.49	49.28	62.5	
11	46.51	46.72	47.00	47.07	47.10	47.79	48.23	48.21	48.04	47.48	46.48	46.04	54.9	
4	45.56	45.55	45.83	46.05	46.07	46.99	46.65	46.35	46.27	45.90	45.27	44.71	51.2	
5	44.21	44.15	44.32	44.44	44.45	45.15	44.77	44.54	44.54	44.36	43.99	43.61	50.9	
月間降水量(mm)	217.5	123.5	103.5	156	171	291	111.5	65.5	52	10	32.5	38		

表中、オレンジは最高水位、および最多降水量
 緑は最低水位、及び最小降水量
 降水量は基本的に気象庁府中観測所の測定値を参照測定月1日から月末までの総降水量を記載
 台風4号 7月6日 前後
 台風8号 8月13日 前後
 台風14号 9月20日 前後
 台風15号 9月24日 前後
 3月降水量は、地下水位測定を実施した3月22日までの合計降水量

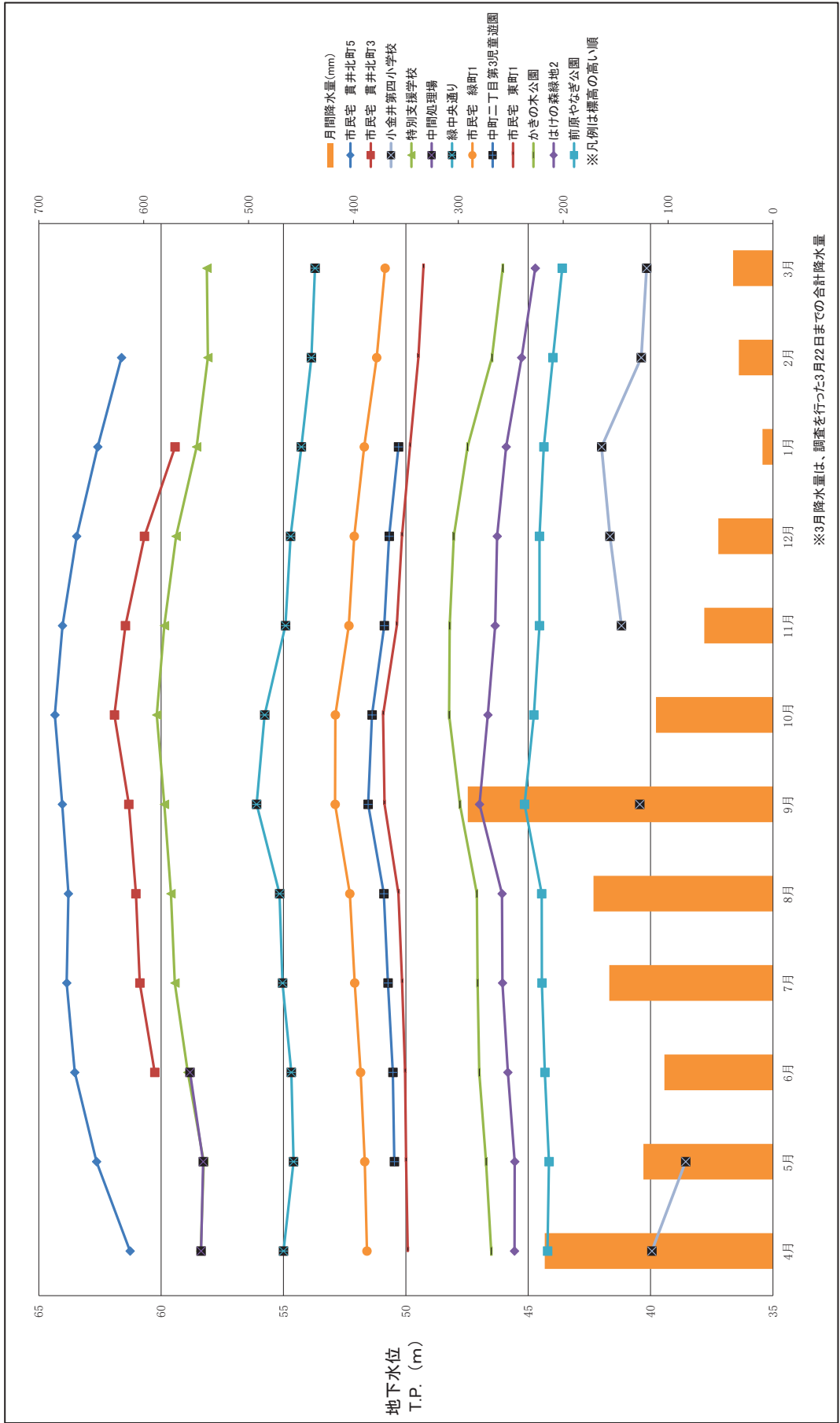


図 4-1 令和 4 年度地下水水位の変動

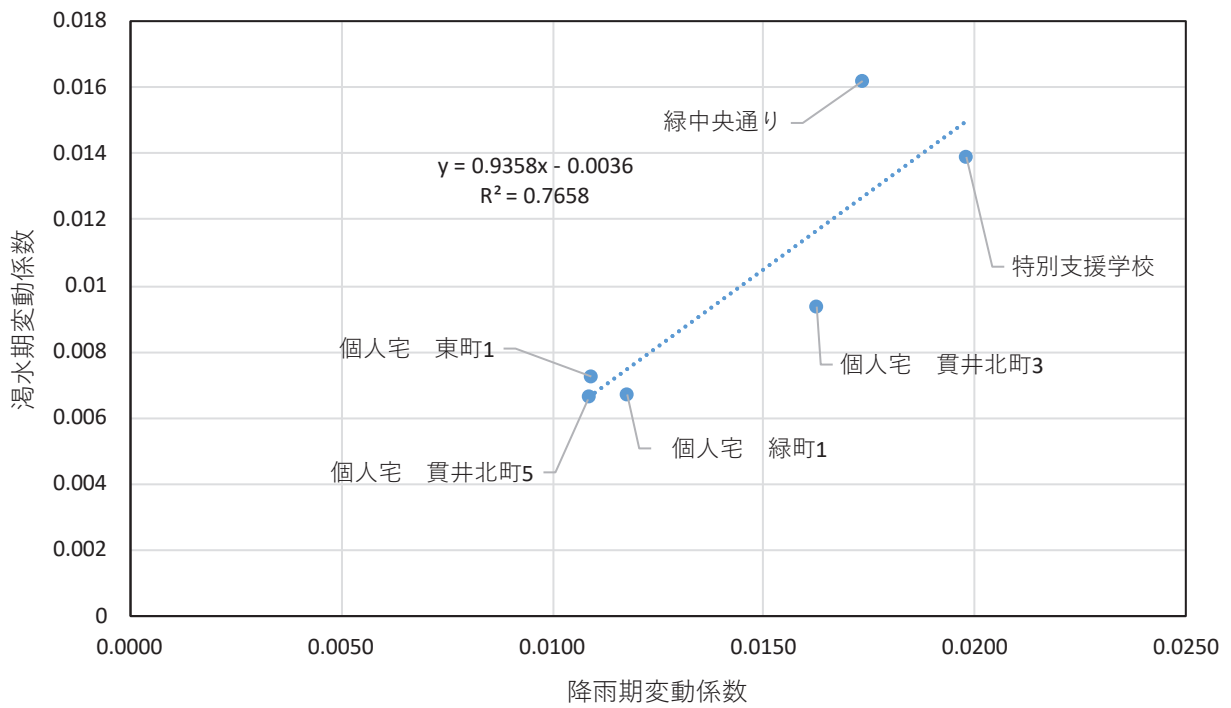
表 4-2 令和 4 年度 地下水位の変動係数

測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
10 個人宅 貫井北町5	63.20	64.34	61.27	3.07	1.03	0.016
9 個人宅 貫井北町3	60.87	61.91	59.43	2.48	0.77	0.013
8-2 小金井第四小学校	40.54	42.00	38.57	3.43	1.08	0.027
7 特別支援学校	59.06	60.18	58.09	2.09	0.76	0.013
8-1 中間処理場	58.49	58.82	58.28			
6 緑中央通り	54.82	56.10	53.71	2.39	0.69	0.013
2 個人宅 緑町1	51.95	52.89	50.85	2.04	0.61	0.012
3 中町二丁目第3児童遊園	50.82	51.54	50.30	1.24	0.41	0.008
1 個人宅 東町1	50.11	50.93	49.28	1.65	0.48	0.010
11 かきの木公園	47.22	48.23	46.04	2.19	0.73	0.015
4 はげの森緑地2	45.93	46.99	44.71	2.28	0.62	0.013
5 前原やなぎ公園	44.38	45.15	43.61	1.54	0.39	0.009

測定点(地面の標高の高い順)	変動係数平均		水位の変動係数		水位の変動係数		水位の標準偏差	
	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月
10 個人宅 貫井北町5	0.010	0.012	0.0168	0.0167	1.06	1.05	0.0167	0.0167
9 個人宅 貫井北町3			0.0099	0.0169	0.61	1.02	0.0169	0.0169
8-2 小金井第四小学校			0.0245	0.0194	0.97	0.80	0.0194	0.0194
7 特別支援学校			0.0124	0.0135	0.74	0.79	0.0135	0.0135
8-1 中間処理場			0.0049		0.29		0.0096	0.0096
6 緑中央通り			0.0100		0.55		0.0120	0.0120
2 個人宅 緑町1			0.0103		0.54		0.0058	0.0058
3 中町二丁目第3児童遊園	0.0087		0.44		0.0091	0.0091		
1 個人宅 東町1	0.0083		0.42		0.0202	0.0202		
11 かきの木公園	0.011	0.015	0.0128	0.0153	0.60	0.96	0.0153	0.0153
4 はげの森緑地2			0.0118	0.0153	0.54	0.70	0.0091	0.0091
5 前原やなぎ公園			0.0079	0.0091	0.35	0.40		
降水量変動係数	0.400							
平均降水量(mm)	167.714							

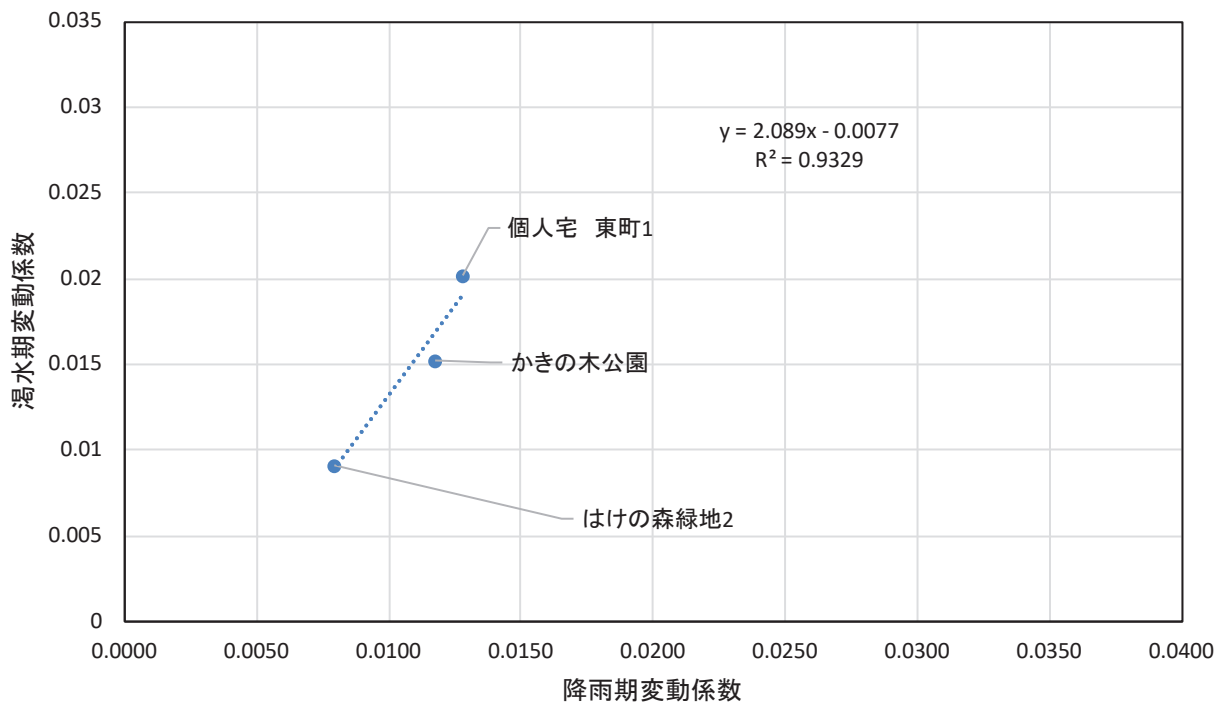
表中、
オレンジは最大値
緑は最小値

※中間処理場は4月~6月までの測定のため11月~3月平均の算出から除外した。
小金井第四小学校は井戸水利用により極端に値が変動したため平均値計算から除外している。



相関係数 $r = 0.875$

図 4-2 令和 4 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図 (はげ上)



相関係数 $r = 0.96585$

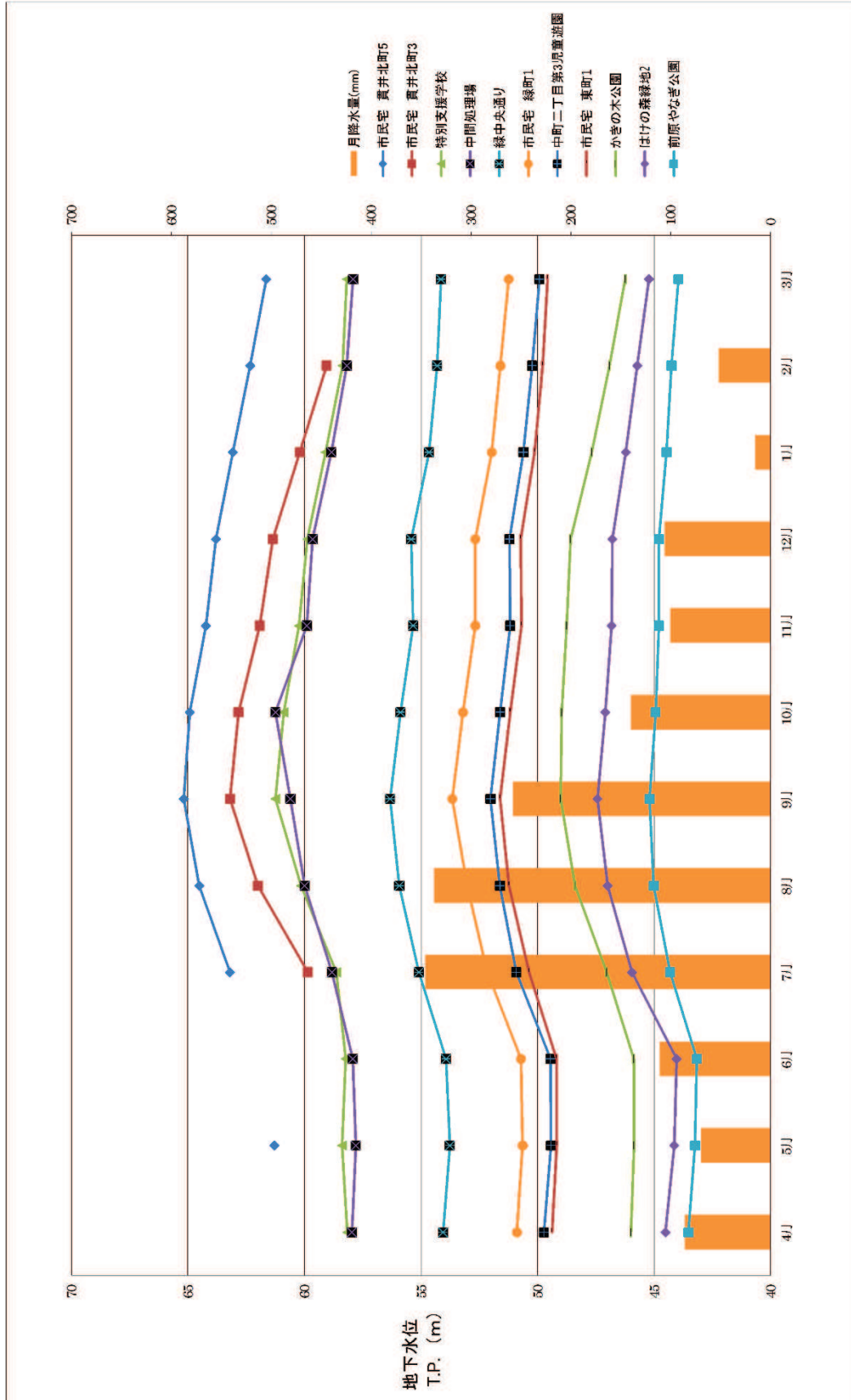
図 4-3 令和 4 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図 (はげ下)

表 4-3 令和3年度 各地点の地下水水位 (T.P.)、月間降水量

		水位単位(m)													
測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)	
はげ上	10 個人宅 貴井北町5	-	61.30	-	63.20	64.52	65.19	64.93	64.23	63.80	63.09	62.34	61.65	75.3	
	9 個人宅 貴井北町3	-	-	-	59.86	62.00	63.20	62.84	61.93	61.36	60.21	59.06	-	74.5	
	7 特別支援学校	58.17	58.39	58.24	58.64	60.16	61.25	60.90	60.25	59.88	59.10	58.37	58.19	71.7	
	8 中間処理場	57.97	57.80	57.93	58.83	60.00	60.61	61.25	59.90	59.66	58.85	58.19	57.92	70.0	
	6 緑中央通り	54.06	53.77	53.94	55.10	55.94	56.33	55.89	55.35	55.42	54.66	54.32	54.15	67.0	
	2 個人宅 緑町1	50.89	50.65	50.72	52.17	53.03	53.67	53.21	52.68	52.68	51.97	51.60	51.25	65.3	
	3 中町二丁目第3児童遊園	49.73	49.43	49.46	50.92	51.62	52.03	51.61	51.18	51.21	50.61	50.24	49.93	63.7	
	1 個人宅 東町1	49.38	49.18	49.20	50.37	51.23	51.62	51.18	48.97	50.70	50.73	50.13	49.79	49.57	62.5
	11 かきの木公園	46.00	45.87	45.88	47.05	48.40	49.02	48.97	48.76	48.59	47.88	47.68	46.92	46.24	54.9
	はげ下	4 はげの森緑地2	44.52	44.14	44.04	45.95	47.00	47.44	47.10	46.83	46.80	46.22	45.73	45.22	51.2
5 前原やなぎ公園		43.53	43.25	43.17	44.32	45.02	45.20	44.93	44.79	44.80	44.47	44.26	43.96	50.9	
月間降水量(mm)		86.0	70	111	346	337	258	140	100.5	106.5	16	52	0		

表中、オレンジは最高水位、および最多降水量
 緑は最低水位、及び最小降水量
 降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照
 測定月1日から月末までの総降水量を記載
 台風8号:7/28前後
 停滞前線:8/13~8/15頃
 台風14号:9/18前後

水位欠測



凡例は上から、地面標高が高い順

図 4-4 令和 3 年度地下水位の変動

表 4-4 令和3年度 地下水位の変動係数

測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
10 個人宅 貫井北町5	63.43	65.19	61.30	3.89	1.35	0.021
9 個人宅 貫井北町3	61.31	63.20	59.06	4.14	1.47	0.024
7 特別支援学校	59.30	61.25	58.17	3.08	1.13	0.019
8 中間処理場	59.08	61.25	57.80	3.45	1.18	0.020
6 緑中央通り	54.91	56.33	53.77	2.56	0.88	0.016
2 個人宅 緑町1	52.04	53.67	50.65	3.02	1.03	0.020
3 中町二丁目第3児童遊園	50.66	52.03	49.43	2.60	0.90	0.018
1 個人宅 東町1	50.26	51.62	49.18	2.44	0.84	0.017
11 かきの木公園	47.45	49.02	45.87	3.15	1.27	0.027
4 はけの森緑地2	45.92	47.44	44.04	3.40	1.20	0.026
5 前原やなぎ公園	44.31	45.20	43.17	2.03	0.70	0.016

測定点(地面の標高の高い順)	変動係数平均		変動係数		変動係数平均		水位の変動係数		水位の標準偏差(m)	
	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月	4~10月	11~3月
10 個人宅 貫井北町5	0.023	0.014	0.0252	0.0167	1.61	1.05	0.014	0.0106	1.50	1.27
9 個人宅 貫井北町3			0.0242	0.0210	1.34	0.90				
7 特別支援学校			0.0225	0.0153	1.42	0.87				
8 中間処理場			0.0239	0.0148	1.08	0.58				
6 緑中央通り			0.0196	0.0123	1.29	0.84				
2 個人宅 緑町1			0.0248	0.0112	1.12	0.57				
3 中町二丁目第3児童遊園	0.0222	0.0104	1.06	0.52						
1 個人宅 東町1	0.0210	0.0226	1.46	1.08						
11 かきの木公園	0.0308	0.0151	1.49	0.89						
4 はけの森緑地2	0.028	0.0326	0.88	0.36						
5 前原やなぎ公園	0.0199	0.0081								
降水量変動係数	0.616	0.876								
平均降水量(mm)	192.571	55.000								

表中、
オレンジは最大変動幅
緑は最小変動幅

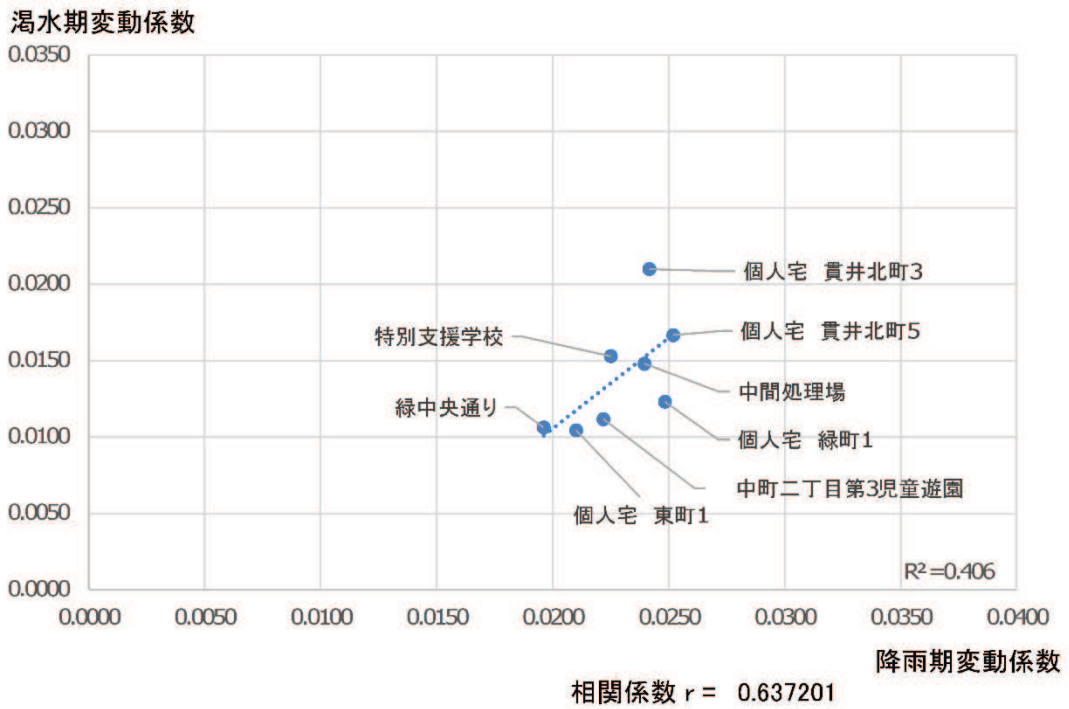


図 4-5 令和 3 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はげ上）

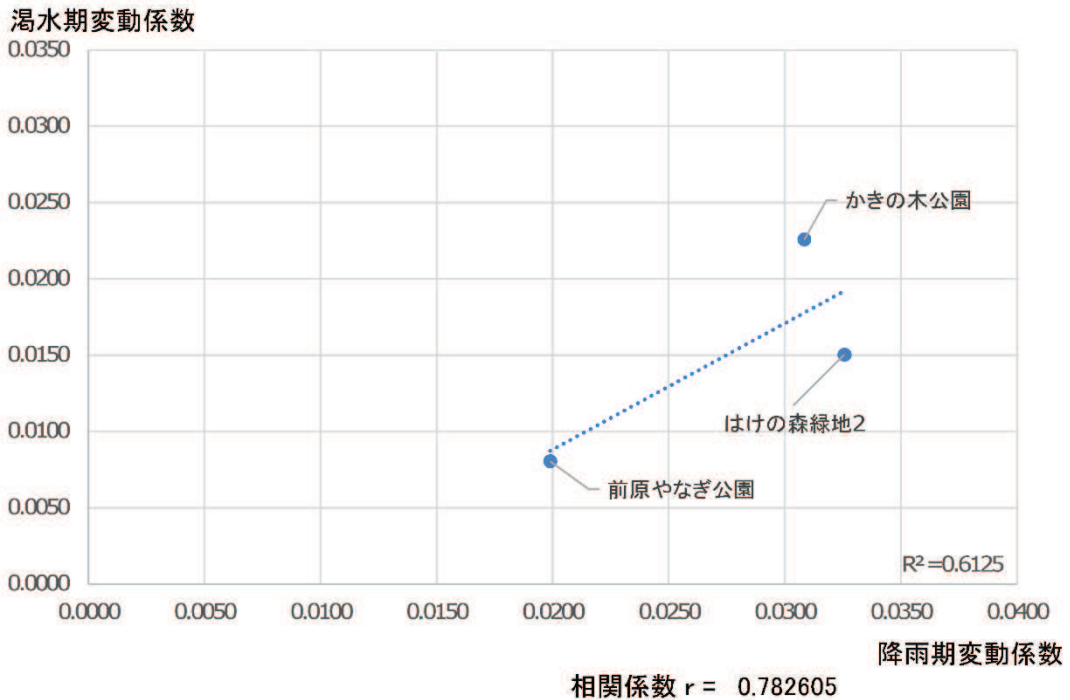


図 4-6 令和 3 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はげ下）

小金井市地下水保全会議 委員名簿

令和6年4月1日現在

委員氏名	任期	任期数	選任区分
徳永 朋祥	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日	4期	学識経験者 (東京大学大学院 教授)
山中 勝	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日	4期	学識経験者 (日本大学 教授)
白木 克繁	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日	2期	学識経験者 (東京農工大学大学院 准教授)
藤村 和正	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日	2期	学識経験者 (明星大学 教授)
松川 英郎	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日	1期	関係行政機関の職員 (東京都多摩環境事務所 環境改善課長)